Mukojo Campus Life Support

本制度は武庫川女子大学、
武庫川女子大学短期大学部
学生のための補償制度です。

この保険は学校法人武庫川学院が
保険契約者となる団体契約です。

入学手続きと同時に
お手続きください。

重要なお知らせです。必ずご覧ください。

学校法人武庫川学院

申込締切日

令和 4 年 **3 | 25**（金）

経営学部の皆さまは必ず保険加入が必要です。 詳しくは次ページをご覧ください。

保険期間

薬学部６年間コース	令和４年4月１日午前０時から令和10年４月１日午後４時まで
大学４年間コース	令和４年4月１日午前０時から令和８年４月１日午後４時まで
短期大学部2年間コース	令和４年4月１日午前０時から令和６年４月１日午後４時まで

学生・こども総合保険 令和４年度パンフレット | 4月始期

本パンフレットには「学生・こども総合保険 パンフレット別冊」が付いています。
お申込みの際には必ずあわせてご確認ください。

大切なお子さまの「安心」のために

「武庫女キャンパスライフサポート」は
安心して大学生活を送っていただくための保険です。

ご入学からご卒業まで、学生生活のみならず
お子さまの日常生活全般におけるさまざまなケガ、
扶養者の方に万一のことがあった場合の補償、
損害賠償事故に対する補償などを総合的にご提供するものです。

卒業予定時までの長期契約ですので、
一度のお手続きで卒業まで安心です。
ぜひご加入ください。

多くの皆さまに加入いただいています！

＼万が一のアクシデントにも対応！／

武庫女キャンパスライフサポートなら！

インターンシップ、ボランティア活動中の損害賠償責任も補償します。

POINT

インターンシップ、ボランティア活動中の

- 情報機器等に記録された情報を壊し、損害賠償責任を負われた場合も補償します。
- 管理下中の預かり品の破損・紛失・盗取に起因する損害賠償責任も補償します。

＊インターンシップ受け入れ先からも賠償責任を補償する保険の加入確認が行われる場合があります。

詳細は
次ページの
「賠償責任」を
ご覧ください。

既に賠償責任保険に加入されている方も！

**補償内容をしっかり
ご確認できていますか？**

学生には「学生のための保険」が安心です！

既に賠償責任保険にご加入されていても、一般的にインターンシップやボランティア活動中などは、補償されないケースが多いのです。また、実習や実験などでも保険の加入が必要な場合があり、全ての学部の皆さまにご加入をおすすめします。

「インターンシップ」＝「就職活動」だけではないんです！

ATTENTION

経営学部の学生の皆さま！

経営学部の学生の皆さまは、実践学習のため必ず保険の加入が必要です。

経営学部は１年次後期から、実践学習としてインターンシップ、サービスラーニング、フィールドワークなどが始まります。

こんなときにお役に立ちます！

インターンシップ

A社にてインターンシップ中、A社所有のPCに飲料をこぼし、PCが壊れ損害賠償を請求された。

サービスラーニング

ボランティア活動中に階段で転倒、骨折してしまった。

フィールドワーク

商店街でアンケートを取っていたら、店頭の商品に過ってぶつかり破損させてしまった。

経営学部だけではなく、他学部の皆さまもお早めのご加入がオススメです！

補償のラインアップ

このようなときにお役にたちます
事故例

賠償責任補償

お支払いする保険金の種類
賠償責任保険金

国内外補償・一部国内のみ補償

日常生活上の賠償事故を起こしたとき

お子さまが、偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物を壊したりする等して法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。

示談交渉サービス付（日本国内のみ）

被保険者に法律上の損害賠償責任が発生した場合は、被保険者のお申出により、引受保険会社は被保険者のために示談交渉をお引き受けします。

日常生活の事故にも備えられます

過って自転車で他人にぶつかり、大ケガを負わせ、損害賠償を請求された。

学生本人の傷害

お支払いする保険金の種類
死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、手術保険金、通院保険金

国内外補償

熱中症危険補償特約　学生本人が熱中症になった場合も、上記保険金をお支払いします。

学校内のみならず、通学中やスポーツ、レジャー、旅行等、日常生活でのケガも補償

傷害死亡・後遺障害
ケガで死亡されたり後遺障害が生じたときに、保険金をお支払いします。

傷害入院・手術
ケガで入院※1や手術※2をしたときに、保険金をお支払いします。
※1 事故の日から180日を経過した後の入院に対しては保険金をお支払いしません。また、お支払いする日数は180日を限度とします。
※2 事故の日から180日以内に受けた手術に限ります。

傷害通院
ケガで通院したときに、保険金をお支払いします。
※事故の日から180日を経過した後の通院に対しては保険金をお支払いしません。また、お支払いする日数は90日を限度とします。

お子さまが運動中に熱中症にかかり5日間入院、退院後3日間通院した。

お子さまがスポーツで腕を複雑骨折し10日間入院。手術を受けて退院後20日間通院した。

学生本人の病気

お支払いする保険金の種類
疾病入院保険金、疾病手術保険金、放射線治療保険金

国内外補償

病気で入院したとき

病気で入院したときに保険金をお支払いします。
＊日帰り入院から補償されます。また、疾病手術や放射線治療を受けたときも保険金をお支払いします。

お子さまが盲腸で5日間入院し、手術を受けた。

特定感染症

国内外補償

新型コロナウイルス感染症も対象

特定感染症（新型コロナウイルス・O-157・SARS・結核等）を発病し、
（1）通院されたとき
（2）入院されたとき
（3）後遺障害が生じたとき
に所定の保険金をお支払いします。

新型コロナウイルス感染症で医師の指示によりホテルでの療養となった。

育英費用

お支払いする保険金の種類
育英費用保険金

学資費用

お支払いする保険金の種類
ケガ　学資費用保険金（実額）
病気　疾病学資費用保険金（実額）

国内外補償

扶養者に万一のことがあった場合

育英費用
扶養者がケガで死亡されたり、重度後遺障害が生じたことにより、扶養者に扶養されなくなったときに、保険金（一時金）をお支払いします。

学資費用
扶養者がケガで死亡されたり、重度後遺障害が生じたことにより、扶養者に扶養されなくなったときに、被保険者（お子さま）が負担された学資費用の実額をお支払いします。

疾病による学資費用
扶養者が病気で死亡されたことにより扶養者に扶養されなくなったときに、被保険者（お子さま）が負担された学資費用の実額をお支払いします。
※疾病学資費用付きのセットに加入しておく必要があります。

※いずれも、あらかじめ扶養者を指定していただきます。

入学後、学費を負担してくれていた父親が交通事故により、亡くなってしまった。

「学資費用」とは

在学または進学する学校に納付する費用のうち、在学期間中に毎年必要となる授業料、施設設備費、実験・実習費、体育費、施設設備管理費等をいいます。

学資費用保険金・育英費用保険金のお支払例

ご加入条件
B2セットにご加入の場合

保険期間	4年間（入学時にご加入）
学業費用支払対象期間	令和8年4月1日まで
学資費用保険金額	1年につき120万円

お支払例　入学後、1年目の後期学資費用支払前に事故が発生した場合

事故の発生の日以降、毎年支払った学資費用を、実額で学資費用保険金額を限度に補償します。
（ただし学業費用支払対象期間（注）内）

扶養者が事故で死亡

実際にかかった費用　授業料　120万円（年間実績）

1年生	2年生	3年生	4年生
育英費用保険金 100万円（一時金でお支払い）	学資費用保険金 60万円	学資費用保険金 120万円	学資費用保険金 120万円	学資費用保険金 120万円

学資費用保険金
1回だけではなく毎年支払われます！

※事故の発生の日以前に支払った学資費用は補償されません。学資費用につきましては、実際に負担した授業料等がお支払対象となります。保険金のお支払額は、支払年度（注）ごとに学資費用保険金額が限度となります。
（注）「学業費用支払対象期間」、「支払年度」の詳細については、「学生・こども総合保険パンフレット別冊」の「※の用語のご説明」をご覧ください。

お申込・ご加入までの流れ

STEP 1
学部に合わせて
コース・プランをお選びください

STEP 2
ご希望の補償内容に合わせて
セットをお選びください。

詳しい補償内容については5~6ページおよび
「学生・こども総合保険 パンフレット別冊」をご覧ください。

＼加入をおすすめする学部／

大学 4年間コース

- 薬学部
- 看護学部

→ **学資費用充実プラン**
学資費用 200 万円タイプ 5ページ
学資費用保険金額が高めに設定されたプランです。学資費用がかかる学部の方におすすめです。
→ A1セット / A2セット

- 音楽学部
- 建築学部

→ **学資費用充実プラン**
学資費用 180 万円タイプ 5ページ
学資費用保険金額が高めに設定されたプランです。学資費用がかかる学部の方におすすめです。
→ A3セット / A4セット

- 文学部
- 教育学部
- 生活環境学部
- 食物栄養科学部
- 経営学部
- 健康・スポーツ科学部

→ **スタンダードプラン**
学資費用 120 万円タイプ 5ページ
学資費用保険金額 120 万円のスタンダードなプランです。
すべての学部の方が加入可能！
→ B1セット / B2セット

6年間コース

- 薬学部

→ **学資費用充実プラン**
学資費用 200 万円タイプ 6ページ
学資費用保険金額が高めに設定された学資費用がかかる薬学部専用プランです。
→ E1セット / E2セット

短期大学部 2年間コース

- 日本語文化学科
- 英語キャリア・コミュニケーション学科
- 幼児教育学科
- 心理・人間関係学科
- 食生活学科
- 生活造形学科
- 健康・スポーツ学科

→ **スタンダードプラン**
学資費用 110 万円タイプ 6ページ
学資費用保険金額 110 万円のスタンダードなプランです。
すべての学科の方が加入可能！
→ G1セット / G2セット

ケガ＋賠償責任補償のみ、学資費用補償なしの「シンプルプラン」もご用意しております。詳細は、5~6ページをご覧ください。

- 大学4年間コース → D1セット
- 大学6年間コース → F1セット
- 短期大学部2年間コース → J1セット

STEP 3 お申込方法・ご加入方法

ご加入者（お申込人）

武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部に在籍する学生（入学等手続を終えた方を含みます。）の保護者の方（扶養者の方）

ご加入セットをご選択ください。
次に、ご加入セットの保険料をご確認ください。

保険料はすべて一時払

保険料については
5~6ページをご覧ください。

同封しております払込取扱票の記入例を参考にして必要事項をご記入ください。

最寄りのゆうちょ銀行または郵便局で保険料をお振込みください。

振込手続をもってお申込みは完了します。

申込締切日 令和４年 ３月 25 日（金）

令和４年４月１日より補償開始

加入者証 令和４年 ５月中旬から 順次郵送予定

ご加入内容をご確認ください。

加入いただく前に保険商品がご希望と合致した内容となっていることを再度ご確認ください。
加入申込票の記載事項等につきましては、重要事項説明書に添付の「ご加入内容確認事項（意向確認事項）」にそってご確認いただき、記載漏れ・記載誤りがある場合は、追記・訂正をお願いいたします。

加入者証が届いたら

万一の際に慌てないように

ご契約者さま 専用ページ ご登録ください

時間を気にせず ご利用できます！

ご契約者さま 専用ページ では、原則24時間365日、各種機能をご利用いただけます

- ご契約内容の確認
- 事故発生の連絡
- 契約者住所の変更
- 代理店への連絡
- 事故画像の送信
- お役立ち情報の受信 など

スマートフォンでのご契約者さま専用ページ登録手順

1. 加入者証封筒に記載のQRコード※を読み取り（注1）
2. 加入者証に記載のお客さまコード1･2を入力
3. メールアドレス(ユーザーID)、パスワード、加入者氏名、生年月日を入力

利用規約に同意 入力内容確認 → 登録完了

（注1）スマートフォンに QR コードのリーダー機能がない場合は、三井住友海上オフィシャルサイトからお手続きください。
※QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

さらに！ LINE の連携で簡単アクセス

ID・パスワードの入力不要で、LINE アプリから契約者さま専用ページをご利用できるようになります！

1. ご契約者さま専用ページにログイン、マイメニューから「LINEで当サービスを利用(友だち追加)」
2. 「友だちリストに追加」 ▼ 認証画面で「同意する」をタップ
3. 自動的に表示される英数字の文字列をそのまま送信

完了

事故が起こったら

早急にご連絡を（30日以内）

電話またはインターネットで連絡をしてください

三井住友海上へのご連絡は
ご契約者さま 専用ページ

24時間365日 事故受付サービス
三井住友海上 事故受付センター
TEL 0120-258-189（無料）

インターネット受付サービス
三井住友海上 保険金請求WEB
※対応可能な事故は限定されています。詳細はWEB画面をご覧ください。

請求書を提出

保険金請求書類が送付されますので、できるだけ早く書類をご提出ください。

保険金が支払われます

銀行振込でお支払いします。

大学 4年間コース

全コース
団体割引 15％適用

スタンダードプラン・シンプルプランは
すべての学部の方が加入可能です！

加入をおすすめする学部

学資費用保険金額が高めに設定されたプランです。
学資費用がかかる学部の方におすすめです。

学資費用充実プラン
- 薬学部
- 看護学部

学資費用充実プラン
- 音楽学部
- 建築学部

スタンダードプラン
＼加入おすすめの学部／
- 文学部
- 教育学部
- 生活環境学部
- 食物栄養科学部
- 経営学部
- 健康・スポーツ科学部

ケガ＋賠償責任補償のみ、学資費用補償なしのシンプルな補償
シンプルプラン

Q 扶養者が病気により死亡された場合の学資費用補償は必要ですか？	必要あり	必要なし	必要あり	必要なし	必要あり	必要なし	必要なし
	学資費用 200万円タイプ		学資費用 180万円タイプ		学資費用 120万円タイプ		学資費用なし
セット名	おすすめ A1セット	A2セット	おすすめ A3セット	A4セット	おすすめ B1セット	B2セット	D1セット
保険料 4年間分一括払	118,510円	63,890円	112,260円	63,100円	93,520円	60,750円	48,480円
	1日あたり約82円	1日あたり約44円	1日あたり約77円	1日あたり約44円	1日あたり約65円	1日あたり約42円	1日あたり約34円

保険料払込はお申込み時のみ！
卒業予定時まで更新手続などは不要です。

保険金額								
学生本人の傷害	死亡・後遺障害保険金額	150万円						
	入院保険金日額	（1日につき）4,000円						
	通院保険金日額	（1日につき）2,000円						
	手術保険金	入院中に受けた手術の場合は入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は入院保険金日額の5倍						
学生本人の病気	疾病入院保険金日額（支払限度日数：180日 支払対象期間：180日）	（1日につき）3,000円						
	疾病手術保険金	入院中に受けた手術の場合は疾病入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は疾病入院保険金日額の5倍						
	放射線治療保険金	1回の放射線治療について疾病入院保険金日額の10倍						
扶養者に万一の際の補償	育英費用保険金額	100万円						
	※学資費用 傷害（学資費用保険金額）	（1年につき）200万円		（1年につき）180万円		（1年につき）120万円		
	※学資費用 疾病（疾病学資費用保険金額）	（1年につき）200万円	なし	（1年につき）180万円	なし	（1年につき）120万円	なし	
	賠償責任保険金額	1億円						

※支払対象期間は「大学4年間コース」は令和8年4月1日までとなります。

●「スタンダードプラン」「シンプルプラン」はすべての学部の方が加入可能です。

● 1日あたりの保険料は、1年を365日で計算しています。（小数点第1位を切り上げ）

● 5～6ページは職種級別A（学生・生徒等）の保険料です。学生・生徒の方が職業に就かれている場合は、保険料が異なることがありますので、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

●この保険のご加入にあたっては、補償内容が同様の保険契約（学生・こども総合保険契約以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によってはいずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、特約の要否を判断のうえ、ご加入ください。

ご加入セットは
学生ライフに合わせて
お選びください！

大学 6年間コース

学資費用がかかる
薬学部専用
コースです。

学資費用充実プラン
薬学部

ケガ＋賠償責任補償のみ、学資費用補償なしのシンプルな補償
シンプルプラン

短期大学部 2年間コース

スタンダードプラン・シンプルプラン
すべての学科の方が加入可能！

スタンダードプラン
- 日本語文化学科
- 英語キャリア・コミュニケーション学科
- 幼児教育学科
- 心理・人間関係学科
- 食生活学科
- 生活造形学科
- 健康・スポーツ学科

ケガ＋賠償責任補償のみ、学資費用補償なしのシンプルな補償
シンプルプラン

Q 扶養者が病気により死亡された場合の学資費用補償は必要ですか？

保険料払込はお申込み時のみ！
卒業予定時まで更新手続などは不要です。

	6年間コース			2年間コース		
	必要あり	必要なし	必要なし	必要あり	必要なし	必要なし
	学資費用 200万円タイプ		学資費用なし	学資費用 110万円タイプ		学資費用なし
セット名	おすすめ E1セット	E2セット	F1セット	おすすめ G1セット	G2セット	J1セット
保険料（6年間コース／6年間分一括払 2年間コース／2年間分一括払）	219,730円	98,950円	70,610円	38,300円	30,680円	25,610円
	1日あたり約101円	1日あたり約46円	1日あたり約33円	1日あたり約53円	1日あたり約43円	1日あたり約36円

保険金額			6年間コース		2年間コース	
学生本人の傷害	死亡・後遺障害保険金額		150万円			
	入院保険金日額		（1日につき）4,000円			
	通院保険金日額		（1日につき）2,000円			
	手術保険金		入院中に受けた手術の場合は入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は入院保険金日額の5倍			
学生本人の病気	疾病入院保険金日額	支払限度日数：180日 支払対象期間：180日	（1日につき）3,000円		（1日につき）3,000円	
	疾病手術保険金		入院中に受けた手術の場合は疾病入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は疾病入院保険金日額の5倍		入院中に受けた手術の場合は疾病入院保険金日額の10倍 それ以外の手術の場合は疾病入院保険金日額の5倍	
	放射線治療保険金		1回の放射線治療について疾病入院保険金日額の10倍		1回の放射線治療について疾病入院保険金日額の10倍	
扶養者に万一の際の補償	育英費用保険金額		100万円		100万円	
	※学資費用	傷害（学資費用保険金額）	（1年につき）200万円		（1年につき）110万円	
		疾病（疾病学資費用保険金額）	（1年につき）200万円	なし	（1年につき）110万円	なし
	賠償責任保険金額		1億円			

※支払対象期間は「大学6年間コース」は令和10年4月1日まで、「短期大学部2年間コース」は令和6年4月1日までとなります。

●「短期大学部2年間コース」はすべての学科の方が加入可能です。

●1日あたりの保険料は、1年を365日で計算しています。（小数点第1位を切り上げ）

学生・こども総合保険　パンフレット別冊

同時にお渡しするパンフレットとあわせてお手続の前にご一読いただき、内容を十分にご確認のうえ、お申込みくださいますようお願い申し上げます。
なお、パンフレットとこの別冊は保険期間終了まで必ずお手元に保管ください。

保険金のお支払いについて

保険金をお支払いする場合、保険金のお支払額、保険金をお支払いしない主な場合

対象となる保険金はご加入いただくプランによって異なります。対象となる保険金については、同時にお渡しするパンフレットでご確認ください。
※印を付した用語については、別記の「※印の用語のご説明」をご覧ください。（各欄の初出時のみ※印を付しています。）

保険金の種類		補償地域 国内	補償地域 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害保険金（傷害条項）	死亡保険金	○	○	保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合 （注1）交通事故危険のみ補償特約がセットされている場合は、交通事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。 （注2）自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされている場合は、自転車事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。	死亡・後遺障害保険金額の全額 （注1）死亡保険金受取人（定めなかった場合は被保険者の法定相続人）にお支払いします。 （注2）既にお支払いした後遺障害保険金（特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症※に関する後遺障害保険金を含みます。）がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。 保険期間が1年を超える保険契約においては、その事故の発生した保険年度※と同一の保険年度に発生した事故によるケガ※に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額をお支払いします。	●保険契約者、被保険者、被保険者の親権者・後見人または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中のケガ ●脳疾患、病気または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●戦争、その他の変乱※、暴動によるケガ（テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ（天災危険補償特約をセットする場合はお支払対象となります。） ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ●原因がいかなるときでも、頸（けい）部症候群※、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※ ●入浴中の溺水※（ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。） ●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）※によって発生した肺炎 ●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ●乗用具※を用いて競技等※をしている間のケガ など （注）細菌性食中毒およびウイルス性食中毒は、補償の対象にはなりません。（細菌性食中毒およびウイルス性食中毒補償特約をセットする場合には補償の対象となります。） **＜交通事故危険のみ補償特約をセットする場合＞** 上記の保険金をお支払いしない主な場合に追加される事由 ●交通乗用具※を用いて競技等※をしている間のケガ ●職務として交通乗用具への荷物、貨物等の積込み作業、積卸し作業または交通乗用具上での整理作業中のケガ、および交通乗用具の修理、点検、整備または清掃作業中のケガ ●職務または実習のための船舶搭乗中のケガ ●グライダー、飛行船、超軽量動力機、ジャイロプレーンに搭乗中のケガ ●航空運送事業者が路線を定めて運行する航空機以外の航空機を操縦している間またはその航空機に職務として搭乗している間のケガ など 上記の保険金をお支払いしない主な場合から除外される事由 ●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ●乗用具を用いて競技等をしている間のケガ （次ページへ続く）
	後遺障害保険金	○	○	保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害※が発生した場合 （注1）交通事故危険のみ補償特約がセットされている場合は、交通事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。 （注2）自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされている場合は、自転車事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。	死亡・後遺障害保険金額 ×約款所定の保険金支払割合（4%～100%） （注1）政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、後遺障害保険金をお支払いします。 （注2）被保険者が事故の発生の日からその日を含めて180日を超えてなお治療※を要する状態にある場合は、引受保険会社は、事故の発生の日からその日を含めて181日目における医師※の診断に基づき後遺障害※の程度を認定して、後遺障害保険金をお支払いします。 （注3）同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 （注4）既にお支払いした後遺障害保険金（特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約によりお支払いした特定感染症※に関する後遺障害保険金を含みます。）がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。 保険期間が1年を超える保険契約においては、その事故の発生した保険年度※と同一の保険年度に発生した事故によるケガ※に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、それぞれの保険年度ごとにお支払いする後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。	

保険金の種類		補償地域 国内	補償地域 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
傷害保険金（傷害条項）	後遺障害保険金の追加支払	○	○	後遺障害保険金をお支払いした場合で、事故の発生の日からその日を含めて180日を経過し、かつ、生存されているとき。	お支払いした後遺障害保険金の額 ×加入者証等記載の倍数	（前ページからの続き） **＜自転車搭乗中等のみ補償特約をセットする場合＞** 前ページの保険金をお支払いしない主な場合に追加される事由 ●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※ ●自転車※を用いて競技等※をしている間のケガ 前ページの保険金をお支払いしない主な場合から除外される事由 ●保険契約者、被保険者、被保険者の親権者・後見人または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ ●自動車等の無資格運転、酒気帯び運転または麻薬等を使用しての運転中のケガ ●脳疾患、病気または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●入浴中の溺水（ただし、引受保険会社が保険金を支払うべきケガによって発生した場合には、保険金をお支払いします。） ●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）によって発生した肺炎 ●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のケガ ●乗用具を用いて競技等をしている間のケガ
	入院保険金	○	○	保険期間中の事故によるケガ※のため、入院※された場合 （注1）交通事故危険のみ補償特約がセットされている場合は、交通事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。 （注2）自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされている場合は、自転車事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。	入院保険金日額×入院※した日数 （注1）事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の入院に対しては保険金をお支払いしません。 （注2）入院保険金をお支払いする期間中にさらに入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、入院保険金を重ねてはお支払いしません。	
	手術保険金	○	○	保険期間中の事故によるケガ※の治療※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に手術※を受けられた場合 （注1）交通事故危険のみ補償特約がセットされている場合は、交通事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。 （注2）自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされている場合は、自転車事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。	①入院※中に受けた手術※の場合 入院保険金日額×10 ②①以外の手術の場合 入院保険金日額× 5 （注）1事故に基づくケガ※について、1回の手術に限ります。また、1事故に基づくケガについて①および②の手術を受けた場合は、①の算式によります。	
	通院保険金	○	○	保険期間中の事故によるケガ※のため、通院※された場合 （注1）通院されない場合で、骨折、脱臼、靱（じん）帯損傷等のケガを被った所定の部位※を固定するために医師※の指示によりギプス等※を常時装着したときは、その日数について通院したものとみなします。 （注2）交通事故危険のみ補償特約がセットされている場合は、交通事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。 （注3）自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされている場合は、自転車事故※によるケガに限り保険金をお支払いします。	通院保険金日額×通院※した日数 （注1）事故の発生の日からその日を含めて180日を経過した後の通院に対しては保険金をお支払いしません。また、お支払いする日数は90日が限度となります。 （注2）入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、通院保険金をお支払いしません。 （注3）通院保険金をお支払いする期間中にさらに通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、通院保険金を重ねてはお支払いしません。	

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
特定感染症による後遺障害保険金 **★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約**	○	○	保険期間中に特定感染症※を発病※し、発病の日からその日を含めて180日以内に後遺障害※が発生した場合	死亡・後遺障害保険金額 ×約款所定の保険金支払割合(4%～100%) (注1)政府労災保険に準じた等級区分ごとに定められた保険金支払割合で、特定感染症※による後遺障害保険金をお支払いします。 (注2)被保険者が発病※の日からその日を含めて180日を超えてなお治療※を要する状態にある場合は、引受保険会社は、発病の日からその日を含めて181日目における医師※の診断に基づき後遺障害※の程度を認定して、特定感染症による後遺障害保険金をお支払いします。 (注3)同一の部位に後遺障害を加重された場合は、既にあった後遺障害に対する保険金支払割合を控除して、保険金をお支払いします。 (注4)既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。また、保険期間を通じてお支払いする死亡保険金、後遺障害保険金および特定感染症による後遺障害保険金は、死亡・後遺障害保険金額が限度となります。 保険期間が1年を超える保険契約においては、その特定感染症を発病した保険年度※と同一の保険年度に発生した事故によるケガ※または発病した特定感染症に対して既にお支払いした後遺障害保険金がある場合は、死亡・後遺障害保険金額から既にお支払いした後遺障害保険金または特定感染症による後遺障害保険金の額を差し引いた額が限度となります。	●保険契約者、被保険者、被保険者の親権者・後見人または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による特定感染症※の発病※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による特定感染症の発病 ●戦争、その他の変乱※、暴動による特定感染症の発病(テロ行為による特定感染症の発病は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による特定感染症の発病 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による特定感染症の発病 ●傷害保険金をお支払いすべきケガ※による特定感染症 ●保険責任開始日からその日を含めて10日以内の特定感染症の発病(ただし、この保険契約が特定感染症を補償する継続契約の場合は、保険金の支払対象となります。) など
特定感染症による後遺障害保険金の追加支払 **★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約**	○	○	特定感染症による後遺障害保険金をお支払いした場合で、特定感染症※の発病※の日からその日を含めて180日を経過し、かつ生存されているとき。	お支払いした特定感染症による後遺障害保険金の額×加入者証等記載の倍数	
特定感染症による入院保険金 **★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約**	○	○	保険期間中に特定感染症※を発病※し、その特定感染症のため入院※された場合	入院保険金日額×入院※した日数 (注1)感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第18条第2項の規定による就業制限が課された場合は、入院したものとみなします。 (注2)特定感染症※を発病※した日からその日を含めて180日を経過した後の入院に対しては、特定感染症による入院保険金をお支払いしません。また、お支払いする入院の日数は180日が限度となります。 (注3)入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による入院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注4)特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中にさらに入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、入院保険金をお支払いしません。 (注5)特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、通院保険金をお支払いしません。	

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
特定感染症による通院保険金 ★特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約	○	○	保険期間中に特定感染症※を発病※し、その特定感染症のため通院※された場合	通院保険金日額×通院※した日数 （注1）特定感染症※を発病※した日からその日を含めて180日を経過した後の通院に対しては、特定感染症による通院保険金をお支払いしません。また、お支払いする通院の日数は90日が限度となります。 （注2）入院保険金または特定感染症による入院保険金をお支払いする期間中に通院された場合は、特定感染症による通院保険金をお支払いしません。 （注3）通院保険金または特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに特定感染症による通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する特定感染症を発病した場合は、特定感染症による通院保険金を重ねてはお支払いしません。 （注4）特定感染症による通院保険金をお支払いする期間中にさらに通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当するケガ※を被った場合は、通院保険金をお支払いしません。	（前ページの特定感染症による後遺障害保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」と同じ）

保険金の種類		補償地域 国内	補償地域 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
疾病保険金	**疾病入院保険金** **★疾病補償基本特約** **欄外(☆)参照**	○	○	保険期間の開始後(＊)に発病※した病気※のため、保険期間中に、入院※された場合(以下、この状態を「疾病入院」といいます。) (＊)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	疾病入院保険金日額 ×疾病入院の日数 (注1)疾病入院の日数には以下の日数を含みません。 ・疾病入院された日からその日を含めてパンフレット記載の支払対象期間※が満了した日の翌日以降の疾病入院の日数 ・1回の疾病入院※について、疾病入院保険金を支払うべき日数の合計がパンフレット記載の支払限度日数※に到達した日の翌日以降の疾病入院の日数 (注2)疾病入院保険金をお支払いする期間中にさらに疾病入院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気※を発病※された場合は、疾病入院保険金を重ねてはお支払いしません。	●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による病気※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による病気 ●精神障害(＊1)およびそれによる病気 ●戦争、その他の変乱※、暴動による病気(テロ行為による病気は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。) ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による病気 ●妊娠または出産(「療養の給付」等(＊2)の対象となるべき期間については、保険金をお支払いします。) ●原因がいかなるときでも、頸(けい)部症候群※、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※ など (注)保険期間の開始時(＊3)より前に発病※した病気(＊4)については、保険金をお支払いしません。ただし、病気を補償する加入タイプに継続加入された場合で、病気を発病した時が、その病気による入院※を開始された日(＊5)からご加入の継続する期間を遡及して1年(保険期間が1年を超えるご契約の場合は2年となります。)以前であるときは、保険金をお支払いします。 (＊1)「精神障害」とは、平成6年10月12日総務庁告示第75号に定められた分類項目中の分類コードF00からF99に規定されたものとし、分類項目の内容については、厚生労働省大臣官房統計情報部編「疾病、傷害および死因統計分類提要 ICD－10(2003年版)準拠」によります。 ＜お支払い対象外となる精神障害の例＞ 認知症、アルコール依存、薬物依存、統合失調症、気分障害、人格障害、知的障害　など (＊2)公的医療保険を定める法令に規定された「療養の給付」に要する費用ならびに「療養費」、「家族療養費」および「保険外併用療養費」をいいます。 (＊3)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。 (＊4)疾病入院の原因となった病気と医学上因果関係がある病気※を含みます。 (＊5)疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。
	疾病手術保険金 **★疾病補償基本特約** **欄外(☆)参照**	○	○	①疾病入院保険金をお支払いする場合で、その病気※の治療※のために疾病入院保険金のパンフレット記載の支払対象期間※中に手術※を受けられたとき。 ②保険期間の開始後(＊)に発病※した病気の治療のために、保険期間中に手術を受けられた場合 (＊)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	1回の手術※について、次の額をお支払いします。 ①入院※中に受けた手術の場合 疾病入院保険金日額×10 ②①以外の手術の場合 疾病入院保険金日額×　5 (注)次に該当する場合のお支払方法は下記のとおりとなります。 ①同一の日に複数回の手術を受けた場合 疾病手術保険金の額の高いいずれか1つの手術についてのみ保険金をお支払いします。 ②1回の手術を2日以上にわたって受けた場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。 ③医科診療報酬点数表に手術料が1日につき算定されるものとして定められている手術に該当する場合 その手術の開始日についてのみ手術を受けたものとします。 ④医科診療報酬点数表において、一連の治療※過程で複数回実施しても手術料が1回のみ算定されるものとして定められている区分番号に該当する手術について、被保険者が同一の区分番号に該当する手術を複数回受けた場合 その手術に対して疾病手術保険金が支払われることとなった直前の手術を受けた日からその日を含めて14日以内に受けた手術に対しては、保険金をお支払いしません。	
	放射線治療保険金 **★疾病補償基本特約** **欄外(☆)参照**	○	○	①疾病入院保険金をお支払いする場合で、その病気※の治療※のために疾病入院保険金のパンフレット記載の支払対象期間※中に放射線治療※を受けられたとき。 ②保険期間の開始後(＊)に発病※した病気の治療のために、保険期間中に放射線治療を受けられた場合 (＊)病気を補償する加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	1回の放射線治療※について、次の額をお支払いします。 疾病入院保険金日額×10 (注1)同一の日に複数回の放射線治療を受けた場合は、いずれか1つの放射線治療についてのみ保険金をお支払いします。 (注2)放射線治療保険金を支払うべき放射線治療を複数回受けた場合は、放射線治療保険金が支払われることとなった直前の放射線治療を受けた日からその日を含めて60日以内に受けた放射線治療については、保険金をお支払いしません。	

保険金の種類		補償地域 国内	補償地域 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
疾病保険金	**疾病通院保険金** **★疾病補償基本特約** **欄外(☆)参照**	○	○	疾病入院保険金をお支払いする疾病入院が終了し、退院した後、その疾病入院の原因となった病気※と同一の病気により通院※された場合(以下、この状態を「疾病通院」といいます。)	疾病通院保険金日額 ×疾病通院の日数 (注1)疾病通院の日数には以下の日数を含みません。 ・疾病入院の終了した日の翌日から起算して支払対象期間※(180日)が満了した日の翌日以降の疾病通院の日数。なお、疾病入院保険金のパンフレット記載の支払対象期間内に疾病入院が終了していない場合には、疾病入院の終了した日または疾病入院保険金の支払対象期間が満了した日の翌日から起算して180日を経過した日のいずれか早い日が疾病入院の終了した日となります。 ・1回の疾病入院※について、疾病通院保険金を支払うべき日数の合計がパンフレット記載の支払限度日数※に到達した日の翌日以降の疾病通院の日数 (注2)疾病入院保険金をお支払いする期間中に疾病通院された場合は、疾病通院保険金をお支払いしません。 (注3)疾病通院保険金をお支払いする期間中にさらに疾病通院保険金の「保険金をお支払いする場合」に該当する病気※を発病※した場合は、疾病通院保険金を重ねてはお支払いしません。 (注4)疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気※を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合で、前の疾病入院の終了後、後の疾病入院が開始するまでの期間中に疾病通院されたときは、その日数を疾病通院の日数に含めて疾病通院保険金をお支払いします。	(前ページの疾病保険金の「保険金をお支払いしない主な場合」のとおり。)

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
育英費用保険金（育英費用条項）	○	○	扶養者※が、保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡されたり、重度後遺障害※の状態になられた場合	育英費用保険金額の全額 （注1）育英費用を補償する保険を複数（引受保険会社、他の保険会社を問いません。）ご契約の場合、育英費用保険金のお支払額は単純に合算されず、最も高い保険金額が限度となります。 （注2）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者、扶養者※または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中のケガ ●脳疾患、病気または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●戦争、その他の変乱※、暴動によるケガ（テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ（天災危険補償特約をセットする場合はお支払対象となります。） ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ●入浴中の溺水※（ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。） ●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）※によって発生した肺炎 など

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
賠償責任保険金（賠償責任条項） **☆賠償責任条項の一部変更に関する特約セット**	○	○（「保険金をお支払いする場合」の②を除く）	次のいずれかの事由により、法律上の損害賠償責任を負われた場合 ①保険期間中の次のア．またはイ．の偶然な事故により、他人の生命または身体を害したり、他人の物（＊1）を壊したりしたこと。 ②日本国内において保険期間中の次のア．またはイ．の偶然な事故により、誤って線路へ立入ってしまったこと等が原因で電車等（＊2）を運行不能（＊3）にさせたこと。 ③補償対象受託物（＊4）の損壊、紛失または盗難（＊5）（住宅（＊6）内保管中または一時的に住宅（＊6）外で管理している間に限ります。） ア．住宅（＊7）の所有、使用または管理に起因する偶然な事故 イ．被保険者の日常生活に起因する偶然な事故 （＊1）情報機器等に記録された情報を含みます。 （＊2）電車、気動車、モノレール等の軌道上を走行する陸上の乗用具をいいます。 （＊3）正常な運行ができなくなることをいいます。ただし、運行することにつき、物理的な危険を伴うものをいいます。 （＊4）「補償対象受託物」とは、被保険者が他人（レンタル業者を含みます。）から預かった財物をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『受託物』」を除きます。 （＊5）上記③に掲げる事由に対して保険金を支払うのは、被保険者が、補償対象受託物（＊4）につき正当な権利を有する者に対して損害賠償責任を負担することによって被った損害に限ります。 （＊6）被保険者の居住の用に供される住宅をいい、敷地を含みます。 （＊7）本人の居住の用に供される住宅をいい、敷地内の動産および不動産を含みます。 （注）被保険者の範囲は、次のとおりです。 ■本人のみ補償特約（賠償責任条項用）をセットしない場合 ア．本人、イ．親権者およびその他の法定の監督義務者、ウ．配偶者、エ．本人・親権者・配偶者と同居の本人・配偶者の親族（6親等内の血族および3親等内の姻族）、オ．本人・親権者・配偶者と別居の本人・配偶者の未婚の子 なお、ア．からオ．までの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者※および3親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。 ■本人のみ補償特約（賠償責任条項用）をセットする場合 本人（本人が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。）	被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額 ＋ 判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金 － 被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額 － 免責金額※（0円） （注1）1回の事故につき、賠償責任保険金額が限度となります。ただし、情報機器等に記録された情報のみの事故については、1回の事故につき、記録情報限度額（500万円）または賠償責任保険金額のいずれか低い額が限度となります。 （注2）損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 （注3）上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 （注4）日本国内において発生した左記「保険金をお支払いする場合」①および②の事故については、被保険者のお申出により、示談交渉をお引受します。ただし、損害賠償請求権者が同意されない場合、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が賠償責任保険金額を明らかに超える場合、正当な理由なく被保険者が協力を拒んだ場合、損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合には示談交渉を行うことができませんのでご注意ください。 （注5）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害 ●被保険者の職務遂行（アルバイトおよびインターンシップを除きます。）に直接起因する損害賠償責任（仕事上の損害賠償責任） ●被保険者の使用人（家事使用人を除きます。）が業務従事中に被った身体の障害に起因する損害賠償責任 ●第三者との損害賠償に関する約定によって加重された損害賠償責任 ●被保険者と同居する親族※に対する損害賠償責任 ●他人から借りたり預かったりした物を壊したことによる損害賠償責任（「保険金をお支払いする場合」の③による損害賠償責任には適用しません。） ●心神喪失に起因する損害賠償責任 ●被保険者または被保険者の指図による暴行、殴打による損害賠償責任 ●自動車等※の車両（ゴルフ場敷地内におけるゴルフカートを除きます。）、船舶、航空機、銃器、職務のために使用する動産または不動産の所有、使用または管理に起因する損害賠償責任 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による補償対象受託物の損害 ●自動車等の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中の事故による補償対象受託物の損害 ●公権力の行使（差押え・没収・破壊等）による補償対象受託物の損害 ●補償対象受託物に発生した自然発火または自然爆発 ●偶然な外来の事故に直接起因しない補償対象受託物の電気的事故・機械的事故（故障等）による損害 ●自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による補償対象受託物の損害 ●風、雨、雪、雹（ひょう）、砂塵（じん）その他これらに類するものの吹込みや漏入による補償対象受託物の損害 ●引き渡し後に発見された補償対象受託物の損壊による損害賠償責任 ●補償対象受託物を使用不能にしたことによる損害賠償責任（収益減少等） ●通常必要とされる取扱い上の注意に著しく反したことまたは本来の用途以外に補償対象受託物を使用したことに起因する損害賠償責任 ●戦争、その他の変乱※、暴動による損害 ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害賠償責任 ●別記の「補償対象外となる主な『受託物』」の損害 など

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
学資費用保険金 **★学業費用補償特約**	○	○	扶養者※が、保険期間中の事故によるケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡されたり、重度後遺障害※の状態になられた場合	被保険者が負担された学資費用※の実額 （注1）学業費用支払対象期間※中に発生した学資費用に限ります。 （注2）保険金のお支払額は、支払年度※ごとに、学資費用保険金額が限度となります。 （注3）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者、扶養者※または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失によるケガ※ ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為によるケガ ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中のケガ ●脳疾患、病気または心神喪失によるケガ ●妊娠、出産、早産または流産によるケガ ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガの治療※以外の外科的手術その他の医療処置によるケガ ●戦争、その他の変乱※、暴動によるケガ（テロ行為によるケガは、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ（天災危険補償特約をセットする場合はお支払対象となります。） ●核燃料物質等の放射性・爆発性等によるケガ ●入浴中の溺水※（ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。） ●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）※によって発生した肺炎 ●扶養者が「保険金をお支払いする場合」に該当された時に、被保険者を扶養されていない場合 など
進学費用保険金 **★学業費用補償特約**	○	○		被保険者が負担された進学費用※の実額 （注1）学業費用支払対象期間※中に発生した進学費用に限ります。 （注2）保険金のお支払額は、学業費用支払対象期間を通じ、進学費用保険金額が限度となります。 （注3）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	
疾病学資費用保険金 **★疾病による学業費用補償特約** **☆保険期間開始前の発病の取扱いの変更に関する特約（疾病による学業費用補償特約用）セット**	○	○	扶養者※が、保険期間の開始後（＊）に発病※した病気※のため、保険期間中に死亡された場合 （＊）この特約をセットした加入タイプに継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始後とします。	被保険者が負担された学資費用※の実額 （注1）学業費用支払対象期間※中に発生した学資費用に限ります。 （注2）保険金のお支払額は、支払年度※ごとに、疾病学資費用保険金額が限度となります。 （注3）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者、扶養者※または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による病気 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による病気 ●麻薬、あへん、大麻、覚せい剤、シンナー等の使用によって発病した病気 ●妊娠、出産、早産または流産による病気 ●扶養者が「保険金をお支払いする場合」に該当した時に、被保険者を扶養されていない場合 ●学業費用補償特約で保険金をお支払いすべきケガ※による病気 など （注）保険期間の開始時（＊1）より前に発病※した病気（＊2）については、保険金をお支払いしません。 ただし、この特約をセットした加入タイプに継続加入される場合で、病気を発病した時が、その病気により死亡された日からご加入の継続する期間を遡及して1年（保険期間が1年を超える加入タイプの場合は2年となります。）以前であるときは、保険金をお支払いします。 （＊1）この特約をセットしたご契約に継続加入された場合は、継続加入してきた最初のご契約の保険期間の開始時をいいます。 （＊2）その病気と医学上因果関係がある病気※を含みます。
疾病進学費用保険金 **★疾病による学業費用補償特約** **☆保険期間開始前の発病の取扱いの変更に関する特約（疾病による学業費用補償特約用）セット**	○	○		被保険者が負担された進学費用※の実額 （注1）学業費用支払対象期間※中に発生した進学費用に限ります。 （注2）保険金のお支払額は、学業費用支払対象期間を通じ、疾病進学費用保険金額が限度となります。 （注3）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	

保険金の種類	補償地域 国内	補償地域 国外	保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
生活用動産保険金 **★生活用動産補償（実損補償型）特約** **☆新価保険特約（生活用動産補償特約用）セット**	○	×	保険期間中の日本国内における偶然な事故（盗難・破損・火災など）により、被保険者が所有する生活用動産（＊）に損害が発生した場合 （＊）「生活用動産」とは、生活の用に供する家具、什（じゅう）器、衣服、その他生活に通常必要な動産をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」を除きます。	損害の額 （再調達価額※によって定めます。） ―　免責金額※（1回の事故につき、盗難の場合3万円、火災・落雷・破裂・爆発の場合0円、その他の場合1万円） （注1）保険金のお支払額は、保険期間を通じ、生活用動産保険金額が限度となります。ただし、保険金額が再調達価額※を超える場合は、再調達価額が限度となります。 （注2）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ●生活用動産の使用・管理を委託された方または被保険者と同居する親族※の故意による損害 ●生活用動産の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●公権力の行使（差押え・没収・破壊等）による損害 ●生活用動産に対する修理、調整の作業（点検または試運転を伴う場合には、これらを含みます。）上の過失または技術の拙劣によって発生した損害。ただし、火災がこれらの事由によって発生した場合は、その火災によって生じた損害については、保険金を支払います。 ●偶然な外来の事故に直接起因しない生活用動産の電気的事故・機械的事故（故障等）による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。 ●詐欺または横領によって生活用動産に発生した損害 ●生活用動産の置き忘れまたは紛失による損害 ●台風、暴風雨、洪水等の風水災による損害（火災による損害を除きます。） ●生活用動産の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または汚損であって、生活用動産が有する機能の喪失または低下を伴わない損害 ●戦争、その他の変乱※、暴動による損害（テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『生活用動産』」の損害 など
携行品損害保険金 **★携行品損害補償特約** **☆新価保険特約（携行品損害補償特約用）セット**	○	○	保険期間中の偶然な事故（盗難・破損・火災など）により、携行品（＊）に損害が発生した場合 （＊）「携行品」とは、被保険者が住宅（敷地を含みます。）外において携行している被保険者所有の身の回り品（カメラ、衣類、レジャー用品等）をいいます。ただし、別記の「補償対象外となる主な『携行品』」を除きます。	損害の額 ―　免責金額※（1回の事故につき3，000円） （注1）損害の額は、再調達価額※によって定めます。ただし、被害物が貴金属等の場合には、保険価額※によって定めます。なお、被害物の損傷を修繕しうる場合においては、損害発生直前の状態に復するのに必要な修繕費をもって損害の額を定め、価格の下落（格落損）は含みません。この場合においても、修繕費が再調達価額を超えるときは、再調達価額を損害の額とします。 （注2）損害の額は、1個、1組または1対のものについて10万円が限度となります。ただし、通貨または乗車券等（鉄道・船舶・航空機の乗車船券・航空券、宿泊券、観光券または旅行券をいいます。ただし、定期券は含まれません。）もしくは小切手については1回の事故につき5万円が限度となります。 （注3）保険金のお支払額は、保険期間を通じ、携行品損害保険金額が限度となります。ただし、保険期間が1年を超える保険契約においては、保険年度※ごとに保険金額が限度となります。 （注4）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による損害 ●被保険者と同居する親族※の故意による損害 ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中の事故による損害 ●公権力の行使（差し押え・没収・破壊等）による損害 ●携行品の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●携行品の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または汚損であって、携行品が有する機能の喪失または低下を伴わない損害 ●偶然な外来の事故に直接起因しない携行品の電気的事故・機械的事故（故障等）による損害。ただし、これらの事由によって発生した火災による損害を除きます。 ●携行品である液体の流出による損害。ただし、その結果として他の携行品に発生した損害を除きます。 ●携行品の置き忘れまたは紛失による損害 ●戦争、その他の変乱※、暴動による損害（テロ行為による損害は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●別記の「補償対象外となる主な『携行品』」の損害 など

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
借家人賠償責任保険金 **★借家人賠償責任補償(オールリスク)特約**	○	×	保険期間中に、日本国内において、借用住宅(＊1)が被保険者の責任による事故により損壊(＊2)し、被保険者(＊3)が貸主に対する法律上の損害賠償責任を負われた場合 (＊1)「借用住宅」とは、被保険者が借用または使用する被保険者住所の建物または住戸室をいい、転居した場合は転居先の建物または住戸室をいいます。 (＊2)「損壊」とは、滅失、破損または汚損をいいます。ただし、滅失には盗難、紛失または詐取を含みません。 (＊3)借用住宅の賃借名義人が被保険者と異なる場合には、その賃借名義人を含みます。なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者※および3親等内の姻族に限ります。)を被保険者とします。	被保険者が損害賠償請求権者に対して負担する法律上の損害賠償責任の額 ＋ 判決により支払を命ぜられた訴訟費用または判決日までの遅延損害金 － 被保険者が損害賠償請求権者に対して損害賠償金を支払ったことにより代位取得するものがある場合は、その価額 － 免責金額※(0円) (注1)1回の事故につき、借家人賠償責任保険金額が限度となります。 (注2)損害賠償金額等の決定については、あらかじめ引受保険会社の承認を必要とします。 (注3)上記算式により計算した額とは別に、損害の発生または拡大を防止するために必要または有益であった費用、示談交渉費用、争訟費用等をお支払いします。 (注4)補償内容が同様の保険契約(異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。)が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者またはこれらの方の法定代理人の故意による損害 ●被保険者の心神喪失または指図に起因する損害賠償責任 ●借用住宅の改築、増築、取りこわし等の工事による損害 ●被保険者と貸主との損害賠償に関する特別な約定によって加重された損害賠償責任 ●貸主に借用住宅を引き渡した後に発見された損壊による損害賠償責任 ●戦争、その他の変乱※、暴動による損害 ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による損害 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による損害 ●借用住宅の自然の消耗、劣化、性質による変色・さび・かび・腐敗・ひび割れ・はがれ・発酵・自然発熱、ねずみ食い、虫食い、欠陥等による損害 ●借用住宅の平常の使用または管理において通常発生し得るすり傷、かき傷、塗料のはがれ落ち、ゆがみ、たわみ、へこみその他外観上の損傷または汚損であって、借用住宅が有する機能の喪失または低下を伴わない損害 など

保険金の種類	補償地域		保険金をお支払いする場合	保険金のお支払額	保険金をお支払いしない主な場合
	国内	国外			
救援者費用等保険金 **★救援者費用等補償（入院ワイド型）特約**	○	○	救援対象者※が次の①～③のいずれかに該当したことにより、被保険者（＊）が費用を負担された場合 ①保険期間中に救援対象者が搭乗している航空機または船舶の行方不明または遭難した場合 ②保険期間中に急激かつ偶然な外来の事故により救援対象者の生死が確認できない場合または緊急な捜索・救助活動を要することが警察等の公の機関により確認された場合 ③保険期間中に被った外出中のケガ※のため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡または続けて3日以上入院※された場合 （＊）「被保険者」とは、この特約により補償を受ける方で、保険契約者、救援対象者または救援対象者の親族※をいいます。	救援者費用等の額 ＜救援者費用等＞ 被保険者が負担された次のア～オの費用のうち社会通念上妥当な部分をいいます。 ア．遭難した救援対象者※の捜索、救助または移送する活動に要した費用 イ．救援者※の現地※までの1往復分の交通費（救援者2名分まで）（＊） ウ．救援者の現地および現地までの行程での宿泊料（救援者2名分かつ1名につき14日分まで）（＊） エ．死亡されたまたは治療※を継続中の救援対象者を現地から移送する費用 オ．諸雑費（救援者の渡航手続費および救援対象者または救援者が現地において支出した交通費・通信費等をいいます。）。ただし、日本国外で左記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は20万円が限度となり、日本国内で左記「保険金をお支払いする場合」に該当した場合は3万円が限度となります。 （＊）上記イ、ウについては、左記「保険金をお支払いする場合」の②の場合において救援対象者の生死が判明した後または救援対象者の緊急な捜索・救助・移送もしくは救助活動が終了した後に現地に赴く救援者にかかる費用は含みません。 （注1）保険金のお支払額は、保険期間を通じ、救援者費用等保険金額が限度となります。ただし、保険期間が1年を超える保険契約においては、保険年度※ごとに保険金額が限度となります。 （注2）補償内容が同様の保険契約（異なる保険種類の特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にある場合、補償の重複が生じることがあります。補償内容の差異や保険金額、加入の要否をご確認いただいたうえでご加入ください。	●保険契約者、被保険者、救援対象者※または保険金を受け取るべき方の故意または重大な過失による費用 ●闘争行為、自殺行為または犯罪行為による費用 ●自動車等※の無資格運転、酒気帯び運転※または麻薬等を使用しての運転中の事故による費用 ●脳疾患、病気または心神喪失による費用 ●妊娠、出産、早産または流産による費用 ●引受保険会社が保険金を支払うべきケガ※の治療※以外の外科的手術その他の医療処置による費用 ●戦争、その他の変乱※、暴動による費用（テロ行為による費用は、条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約により、保険金の支払対象となります。） ●地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波による費用 ●核燃料物質等の放射性・爆発性等による費用 ●原因がいかなるときでも、頸（けい）部症候群※、腰痛その他の症状を訴えている場合に、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※ ●入浴中の溺水※（ただし、急激かつ偶然な外来の事故によって被ったケガによって発生した場合を除きます。） ●原因がいかなるときでも、誤嚥（えん）※によって発生した肺炎 ●別記の「補償対象外となる運動等」を行っている間の事故による費用 など

●柔道整復師（接骨院、整骨院等）による施術の場合、通院日数の認定にあたっては、傷害の部位や程度に応じ、医師の治療に準じて認定し、お支払いします。また、鍼（はり）・灸（きゅう）・マッサージなどの医療類似行為については、医師の指示に基づいて行われた施術のみ、お支払いの対象となります。

補償対象外となる運動等
山岳登はん（＊1）、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、航空機（＊2）操縦（＊3）、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機（＊4）搭乗、ジャイロプレーン搭乗　その他これらに類する危険な運動 （＊1）ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの、ロッククライミング（フリークライミングを含み、登る壁の高さが5m以下であるボルダリングは含みません。）をいいます。 （＊2）グライダーおよび飛行船は含みません。 （＊3）職務として操縦する場合は含みません。 （＊4）モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機は含みません。
補償対象外となる主な「受託物」
通貨、預貯金証書、有価証券、印紙、切手、稿本（本などの原稿）、設計書、図案、証書、帳簿、貴金属、宝石、書画、骨董（とう）、彫刻、美術品、自動車（被牽（けん）引車を含みます。）・原動機付自転車・船舶（ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。）・航空機およびこれらの付属品、銃砲、刀剣、上記の「補償対象外となる運動等」を行っている間のその運動等のための用具、動物・植物等の生物、建物（畳、建具、浴槽、流し、ガス台、調理台、棚および電気・ガス・暖房・冷房設備その他の付属設備を含みます。）、門、塀・垣、物置、車庫その他の付属建物　など

補償対象外となる主な「生活用動産」
(1)親族※が居住する建物内に所在する被保険者の生活用動産(例:被保険者である下宿生のご実家に所在する被保険者の生活用動産等)。ただし、賃貸借契約を締結して被保険者が単独で居住している建物の戸室内の生活用動産(例:被保険者である下宿生が居住している下宿の建物の戸室内の生活用動産等)については、補償の対象となります。 (2)通貨、有価証券、預金証書または貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます。)、印紙、切手、定期券、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、クーポン券、航空券、パスポート、稿本(本などの原稿)・設計書・図案・証書(運転免許証およびパスポートを含みます。)・帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勲章・き章・免許状その他これらに類するもの(印章は補償の対象となります。)、貴金属、宝玉、宝石、書画、骨董(とう)、彫刻物、眼鏡、コンタクトレンズ、義歯、義肢、ハンググライダー、ウインドサーフィン、パラセール、アクアラング、船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)・自動車等※およびこれらの付属品、動物、植物、テープ・カード・ディスク・ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム・データ(市販されてないものをいいます。) など
補償対象外となる主な「携行品」
株券・有価証券・印紙・切手(乗車券等、定期券、通貨および小切手は補償の対象となります。)、預金証書または貯金証書(通帳およびキャッシュカードを含みます。)、クレジットカード、ローンカード、プリペイドカード、電子マネー、稿本(本などの原稿)・設計書・図案・証書(運転免許証およびパスポートを含みます。)・帳簿・ひな形・鋳型・木型・紙型・模型・勲章・き章・免許状その他これらに類するもの(印章は補償の対象となります。)、船舶(ヨット、モーターボート、水上バイク、ボートおよびカヌーを含みます。)・航空機・自動車・原動機付自転車・雪上オートバイ・ゴーカートおよびこれらの付属品、自転車・ハンググライダー・パラグライダー・サーフボード・ウインドサーフィン・ラジコン模型およびこれらの付属品、携帯電話・PHS・ポケットベル等の携帯式通信機器、ノート型パソコン・その他の携帯式パソコン・ワープロ・タブレット端末・ウェアラブル端末等の携帯式電子事務機器およびこれらの付属品、義歯、義肢、眼鏡、コンタクトレンズ、補聴器、動物、植物、テープ・カード・ディスク・ドラム等のコンピュータ用の記録媒体に記録されているプログラム・データ(市販されていないものをいいます。) など

◆前記以外の主な特約について

ご加入いただくプランによっては、下表の特約がセットされます(「条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約」は全プランに自動セットされます)。対象となる特約については、同時にお渡しするパンフレットでご確認ください。

※印を付した用語については、別記の「※印の用語のご説明」をご覧ください。(各欄の初出時のみ※印を付しています。)

条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約(自動セット)	保険金をお支払いしない場合のうち「戦争、その他の変乱※、暴動」については、テロ行為はお支払いの対象となります。テロ行為とは、政治的、社会的もしくは宗教・思想的な主義・主張を有する団体・個人またはこれと連帯するものがその主義・主張に関して行う暴力的行動をいいます。
本人のみ補償特約(賠償責任条項用)	賠償責任保険金の被保険者の範囲は、本人のみとなります。なお、本人が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方(責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。)を被保険者とします。
天災危険補償特約	地震もしくは噴火またはこれらを原因とする津波によるケガ※の場合も、傷害保険金、育英費用保険金、学業費用補償特約の規定による学資費用保険金および進学費用保険金をお支払いします。
手術保険金対象外特約	傷害保険金の手術保険金をお支払いしません。
死亡保険金対象外特約	傷害保険金の死亡保険金をお支払いしません。
入院保険金および手術保険金支払日数延長(1,000日)特約	傷害保険金の入院保険金をお支払いする日数の限度およびお支払いの対象となる期間を180日から1,000日に延長します。ただし、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に入院※された場合に限ります。手術保険金については、事故の発生の日からその日を含めて1,000日以内に手術※を受けた場合にお支払いします。
通院保険金対象期間延長(1,000日)特約	傷害保険金の通院保険金をお支払いする対象となる事故の発生の日からの期間を180日から1,000日に延長します。ただし、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に通院※された場合に限ります。
第三者の加害行為による保険金2倍支払特約	第三者からの加害行為(＊1)やひき逃げ事故(＊2)でケガ※をされた場合、傷害保険金を2倍にしてお支払いします。 (＊1)警察に届出があった場合に限ります。 (＊2)事故の発生の日からその日を含めて60日経過後も加害者を特定できないひき逃げ事故に限ります。 (注)ご加入されたご契約に傷害保険金を2倍、増額または追加して支払う他の特約がセットされている場合は、この特約により支払われる保険金は、他の特約がないものとして算出した額とします。
自転車搭乗中等の傷害追加支払特約	自転車事故※によるケガ※を被った場合は、傷害保険金を2倍にしてお支払いします。 (注)ご加入されたご契約に傷害保険金を増額または追加して支払う他の特約がセットされている場合は、この特約により支払われる保険金は、他の特約がないものとして算出した額とします。
運動危険等補償特約	別記の「補償対象外となる運動等」のうち、特約に記載された範囲の運動等を行っている間のケガ※の場合も、傷害保険金をお支払いします。
細菌性食中毒およびウイルス性食中毒補償特約	細菌性食中毒およびウイルス性食中毒をケガ※に含め、保険金をお支払いします。 (注)特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約がセットされている場合で、同特約により保険金をお支払いする場合は、該当する保険金について、細菌性食中毒およびウイルス性食中毒補償特約の規定に基づく保険金はお支払いしません。
熱中症危険補償特約	日射または熱射による身体の障害の場合も、傷害保険金をお支払いします。

(☆)疾病入院保険金、疾病手術保険金、放射線治療保険金、疾病通院保険金

【継続加入において、継続前後でご契約のお支払条件が異なる場合のご注意】

病気※を補償する加入タイプに継続加入の場合で、被保険者が疾病入院(＊1)の原因となった病気(＊2)を発病※した時がこの保険契約の保険期間の開始時より前であるときは、保険金のお支払額は次の①または②の金額のうち、いずれか低い金額となります。

① 病気を発病した時の保険契約のお支払条件で算出した金額

② この保険契約のお支払条件で算出した金額

ただし、病気(＊2)を発病した時が、その病気による入院(＊1)を開始された日からご加入の継続する期間を遡及して1年(保険期間が1年を超えるご契約の場合は2年となります。)以前であるときは、②により算出した額をお支払いします。

(＊1)疾病入院保険金の支払いを伴わない疾病手術保険金または放射線治療保険金の場合は、それぞれ「手術の開始時」、「放射線治療の開始時」に疾病入院が開始したものとみなします。

(＊2)疾病入院(＊1)の原因となった病気と医学上因果関係がある病気※を含みます。

※印の用語のご説明

用語	説明
あ	
医学上因果関係がある病気	医学上重要な関係にある一連の病気をいい、病名を異にする場合であってもこれを同一の病気として取扱います。たとえば、高血圧症とこれに起因する心臓疾患または腎臓疾患等をいいます。
医学的他覚所見のないもの	被保険者が自覚症状を訴えている場合であっても、脳波所見、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査、眼科・耳鼻科検査等によりその根拠を客観的に証明することができないものをいいます。
医師	被保険者(＊)が医師の場合は、被保険者(＊)以外の医師をいいます。 (＊)救援者費用等補償(入院ワイド型)特約の場合は救援対象者※とします。
1回の疾病入院	疾病入院の退院日の翌日からその日を含めて180日を経過する日までに、その疾病入院の原因となった病気(これと医学上因果関係がある病気※を含みます。)によって再度疾病入院に該当した場合には、前の疾病入院と後の疾病入院を合わせて「1回の疾病入院」として取扱います。
か	
学業費用支払対象期間	扶養者※が扶養不能状態となった日の翌日から、加入者証等記載の学業費用補償特約の終期までの期間をいいます。
学資費用	在学または進学する学校に納付する費用のうち、在学期間中に毎年必要となる授業料、施設設備費、実験・実習費、体育費、施設設備管理費等をいいます。
ギプス等	ギプス、ギプスシーネ、ギプスシャーレ、シーネその他これらに類するもの(硬性コルセット、創外固定器、その他医学上ギプスと同程度の安静を保つために用いるものをいい、バストバンド、軟性コルセット、サポーター、頸(けい)椎カラー、厚紙副子、ニーブレース等は含まれません。)をいいます。
救援者	救援対象者※の捜索、救助、移送、看護または事故処理を行うために現地※へ赴く救援対象者の親族※(これらの方の代理人を含みます。)をいいます。
救援対象者	普通保険約款における被保険者をいいます。
競技等	競技、競争、興行(＊1)または試運転(＊2)をいいます。また、競技場におけるフリー走行など競技等に準ずるものを含みます。 (＊1)いずれもそのための練習を含みます。 (＊2)交通事故危険のみ補償特約の場合は訓練を含みます。ただし、自動車等※の運転資格を取得するための訓練は含みません。
頸(けい)部症候群	いわゆる「むちうち症」をいいます。
ケガ	急激かつ偶然な外来の事故によって身体に被った傷害をいいます。 「急激」とは、「事故が突発的で、傷害発生までの過程において時間的間隔がないこと」を意味します。 「偶然」とは、「保険事故の原因または結果の発生が被保険者にとって予知できない、被保険者の意思に基づかないこと」を意味します。 「外来」とは、「保険事故の原因が被保険者の身体外部からの作用によること、身体に内在する疾病要因の作用でないこと」を意味します。 「傷害」には、身体外部から有毒ガスまたは有毒物質を偶然かつ一時に吸入、吸収または摂取した場合に急激に生ずる中毒症状(＊)を含み、次のいずれかに該当するものを含みません。 ①細菌性食中毒　②ウイルス性食中毒 (＊)継続的に吸入、吸収または摂取した結果生ずる中毒症状を除きます。
ケガを被った所定の部位	次のいずれかの部位(指、顔面等は含まれません。)をいいます。 ・長管骨(上腕骨、橈骨、尺骨、大腿骨、脛骨および腓骨をいいます。以下同様とします。)または脊柱 ・長管骨に接続する上肢または下肢の3大関節部分(中手骨、中足骨およびそれらより指先側は含まれません。)。ただし、長管骨を含めギプス等※の固定具を装着した場合に限ります。 ・肋骨・胸骨(鎖骨、肩甲骨は含まれません。)。ただし、体幹部にギプス等の固定具を装着した場合に限ります。
現地	事故発生地または救援対象者※の収容地をいいます。
後遺障害	治療※の効果が医学上期待できない状態であって、被保険者または扶養者の身体に残された症状が将来においても回復できない機能の重大な障害に至ったものまたは身体の一部の欠損をいいます。ただし、被保険者または扶養者が症状を訴えている場合であっても、それを裏付けるに足りる医学的他覚所見のないもの※を除きます。
交通事故	次の事故をいいます。 ①　運行中の交通乗用具※との衝突、接触等(＊) ②　運行中の交通乗用具の衝突、接触、火災、爆発等(＊) ③　運行中の交通乗用具の正規の搭乗装置またはその装置のある室内に搭乗中の急激かつ偶然な外来の事故(異常かつ危険な方法で搭乗している場合は含みません。) ④　乗客として交通乗用具の改札口を入ってから改札口を出るまでの間の急激かつ偶然な外来の事故 ⑤　道路通行中の、工作用自動車との衝突、接触等または工作用自動車の衝突、接触、火災、爆発等の事故(＊)(ただし、作業機械としてのみ使用されている工作用自動車に限ります。) ⑥　交通乗用具の火災 (＊)立入禁止の工事現場内、建設現場内、レーシング場のサーキット内、鉄道敷地内等で、かつ、一般には開放されていない状況にある場所で発生した事故は除きます。
交通乗用具	電車、自動車(スノーモービルを含みます。)、原動機付自転車、自転車、航空機、ヨット、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、エレベーター等、交通事故危険のみ補償特約に定められたものをいいます。
誤嚥(えん)	食物、吐物、唾液等が誤って気管内に入ることをいいます。

	用語	説明
さ		
	再調達価額	損害が発生した時の発生した場所における保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再取得するのに必要な金額をいいます。なお、再取得に必要な額は、被害物を購入したときの金額より低い金額となる場合があります。
	自転車	ペダルまたはハンド･クランクを用い、かつ、人の力により運転する2輪以上の車(レールにより運転する車、身体障害者用車いすおよび幼児用の3輪以上の車を含みません。)およびその付属品(積載物を含みます。)をいいます。
	自転車事故	次の事故をいいます。 ① 自転車※に搭乗中の急激かつ偶然な外来の事故 ② 運行中の自転車との衝突、接触
	自動車等	自動車または原動機付自転車をいいます。
	支払限度日数	支払対象期間※内において、疾病入院保険金および疾病通院保険金の支払いの限度となる日数をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数とします。
	支払対象期間	疾病入院保険金および疾病通院保険金の支払いの対象となる期間をいい、それぞれについて、加入者証等記載の期間または日数をいいます。なお、「疾病入院」が中断している期間がある場合には、その期間を含む継続した期間をいいます。
	支払年度	初年度については、支払対象期間開始日(＊1)から1年以内に到来する支払対象期間終了日(＊2)の応当日までをいいます。次年度以降については、支払対象期間終了日(＊2)の応当日から1年間をいいます。 (＊1)扶養者※が扶養不能状態となった日の翌日をいいます。 (＊2)加入者証等記載の学業費用補償特約の支払対象期間終了日をいいます。
	重度後遺障害	後遺障害※のうち、両眼の矯正視力が0．02以下になった場合、神経系統の機能等に著しい障害を残し、随時介護を要する場合等をいいます。
	酒気帯び運転	道路交通法第65条(酒気帯び運転等の禁止)第1項に定める酒気を帯びた状態で自動車等※を運転することをいいます。
	手術	次のいずれかに該当する診療行為をいいます。 ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている診療行為(＊1)。ただし、創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的な整復術、整復固定術および授動術ならびに抜歯手術を除きます。 ②先進医療※に該当する診療行為(＊2) (＊1)①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に手術料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても手術料の算定対象として列挙されているものを含みます。 (＊2)②の診療行為は、治療※を直接の目的として、メス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものに限ります。ただし、診断、検査等を直接の目的とした診療行為ならびに注射、点滴、全身的薬剤投与、局所的薬剤投与、放射線照射および温熱療法による診療行為を除きます。
	乗用具	自動車等※、モーターボート(水上オートバイを含みます。)、ゴーカート、スノーモービル、その他これらに類するものをいいます。
	進学費用	進学する学校に納付する費用のうち、学資費用※以外の費用で、入学金、納付が義務付けられている寄付金等をいいます。
	親族	6親等内の血族、配偶者※および3親等内の姻族をいいます。
	先進医療	手術※または放射線治療※を受けた時点において、厚生労働省告示に基づき定められている評価療養のうち、別に厚生労働大臣が定めるもの(先進医療ごとに別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合する病院または診療所において行われるものに限ります。)をいいます。なお、先進医療の対象となる医療技術、医療機関および適応症等は、一般の保険診療への導入や承認取消等の事由によって、変動します。
	その他の変乱	外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変をいいます。
た		
	治療	医師※が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。
	通院	病院もしくは診療所に通い、または往診もしくは訪問診療により、治療※を受けることをいい、オンライン診療による診察を含みます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。なお、同月に複数回のオンライン診療を受けた場合で、公的医療保険制度における医科診療報酬点数表においてオンライン診療料を1回算定された場合は、最初の1回のみ通院したものとみなします。
	溺水	水を吸引したことによる窒息をいいます。
	特定感染症	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条に規定する次のいずれかの感染症をいいます。 ①一類感染症 ②二類感染症 ③三類感染症 ④新型コロナウイルス感染症(注1) ⑤指定感染症(注2) (注1)新型コロナウイルス感染症とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第7項第3号に規定するものをいい、病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限ります。)であるものに限ります。 (注2)指定感染症は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第7条第1項の規定に基づき一類感染症、二類感染症または三類感染症に適用される規定と同程度の規定を準用することが政令で定められている場合に限ります。
な		
	入院	自宅等での治療※が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師※の管理下において治療に専念することをいいます。

	用語	説明
は		
	配偶者	婚姻の相手方をいい、婚姻の届出をしていないが事実上婚姻関係と同様の事情（内縁関係）にある方および、戸籍上の性別が同一であるが婚姻関係と異ならない程度の実質を備える状態にある方を含みます。
	発病	医師※が診断（＊）した発病をいいます。ただし、先天性異常については、医師が診断したことによりはじめて発見されることをいいます。 （＊）人間ドックや定期健康診断での指摘を含みます。
	病気	被保険者が被ったケガ※以外の身体の障害をいいます。なお、被保険者が病気によって被ったケガについては、病気として取り扱います。
	扶養者	被保険者を扶養する方で、加入者証等に記載された方をいいます。
	放射線治療	次のいずれかに該当する診療行為をいいます。 ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為 ②先進医療※に該当する放射線照射または温熱療法による診療行為 （注）①の診療行為には、歯科診療報酬点数表に放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為のうち、医科診療報酬点数表においても放射線治療料の算定対象として列挙されている診療行為を含みます。
	保険価額	保険の対象に損害が生じた地および時における保険の対象の価額をいいます。
	保険年度	保険期間の初日から起算して1年間を第1保険年度といいます。その後は満期日まで順次1年間ずつ、第2保険年度、第3保険年度…といいます。ただし、保険期間に1年未満の端日数がある保険契約の場合には、第1保険年度については、始期日からその端日数期間、第2保険年度については、第1保険年度の末日の翌日から1年間とし、以後同様とします。
ま		
	免責金額	支払保険金の計算にあたって損害の額から差し引く金額で、自己負担となる金額をいいます。

ご注意事項（必ずお読みください）

ご加入にあたっての注意事項

●この保険の保険期間は同時にお渡しするパンフレットに記載のとおりです。保険金請求状況等によっては、保険期間終了後、継続加入できないことや補償内容を変更させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

●引受保険会社が、普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等を改定した場合、改定日以降の日を始期日とする継続契約につきましては、その始期日における普通保険約款・特約、保険契約引受に関する制度または保険料率等が適用されます。そのため、継続契約の補償等の内容や保険料が継続前の保険契約と異なること、または継続加入できないことがあります。あらかじめご了承ください。

●お客さまのご加入内容が登録されることがあります。
損害保険制度が健全に運営され、死亡保険金、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金等のお支払いが正しく確実に行われるよう、これらの保険金のある保険契約について、一般社団法人　日本損害保険協会が運営する契約内容登録制度への登録を実施しております。

●ご加入いただいた後にお届けする加入者証は、内容をご確認のうえ、大切に保管してください。

●税法上の取扱い（2019年10月現在）
払い込んでいただく保険料のうち、疾病保険金部分の保険料等は生命保険料控除のうち介護医療保険料控除の対象となり、所得税について最高 40,000 円まで、住民税について最高 28,000 円までが毎年の課税対象額から控除されます。
（注1）傷害保険金部分の保険料等は、保険料控除の対象となりません。特に、疾病補償基本特約付ではないプランの場合、保険料控除の対象となる保険料はありませんので、ご注意ください。
（注2）なお、この取扱いは今後の税制改正によっては変更となる場合がありますので、ご注意ください。

保険金をお支払いする場合に該当したときの手続

●保険金をお支払いする場合に該当したときの引受保険会社へのご連絡
保険金をお支払いする場合に該当したときは、代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。保険金請求の手続につきまして詳しくご案内いたします。なお、保険金をお支払いする場合に該当した日から30日以内にご連絡がない場合、もしくは知っている事実を告げなかった場合、または事実と異なることを告げた場合は、引受保険会社はそれによって被った損害の額を差し引いて保険金をお支払いすることがあります。

●保険金のご請求時にご提出いただく書類
被保険者または保険金を受け取るべき方（これらの方の代理人を含みます。）が保険金の請求を行う場合は、事故受付後に引受保険会社が求める書類をご提出いただきます。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
【ご提出いただく書類】　以下の書類のうち引受保険会社が求めるもの
○引受保険会社所定の保険金請求書
○引受保険会社所定の同意書
○事故原因・損害状況に関する資料
○引受保険会社所定の診断書
○診療状況申告書
○公の機関（やむを得ない場合は第三者）等の事故証明書
○死亡診断書
○損害賠償の額および損害賠償請求権者を確認する書類（＊）
○他から支払われる損害賠償金（＊）・保険金、給付金等の額を確認する書類
○被保険者またはその代理人の保険金請求であることを確認するための資料（住民票、健康保険証（写）　等）
○引受保険会社所定の事故内容報告書、損害または費用の発生を確認する書類およびその他これらに類する書類（＊）
（＊）賠償責任を補償するプランにご加入の場合

事故の内容、損害額等に応じて上記の書類以外の書類をご提出いただくようお願いすることがあります。

●代理請求人について
高度障害状態となり、意思能力を喪失した場合など、被保険者に保険金を請求できない事情があり、かつ、保険金を受け取るべき被保険者の代理人がいない場合には、引受保険会社の承認を得て、その被保険者と同居または生計を共にする配偶者（＊）等（以下「代理請求人」といいます。詳細は（注）をご参照ください。）が保険金を請求できることがあります。詳細は代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。また、**本内容については、代理請求人となられる方にも必ずご説明ください。**

（注）①「被保険者と同居または生計を共にする配偶者（＊）」
②上記①に該当する方がいないまたは上記①に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合
「被保険者と同居または生計を共にする3親等内の親族」
③上記①、②に該当する方がいないまたは上記①、②に該当する方に保険金を請求できない事情がある場合
「上記①以外の配偶者（＊）」または「上記②以外の3親等内の親族」
（＊）法律上の配偶者に限ります。

●保険金支払いの履行期
引受保険会社は、保険金請求に必要な書類（＊1）をご提出いただいてからその日を含めて30日以内に、保険金をお支払いするために必要な事項の確認（＊2）を終えて保険金をお支払いします。（＊3）
（＊1）保険金請求に必要な書類は、「保険金のご請求時にご提出いただく書類」をご参照ください。代理請求人が保険金を請求される場合は、被保険者が保険金を請求できない事情を示す書類をご提出いただきます。
（＊2）保険金をお支払いする事由の有無、保険金をお支払いしない事由の有無、保険金の額の算出、保険契約の効力の有無、その他引受保険会社がお支払いすべき保険金の額の確定のために確認が必要な事項をいいます。
（＊3）必要な事項の確認を行うために、警察などの公の機関の捜査結果の照会、医療機関など専門機関の診断結果の照会、災害救助法が適用された被災地における調査、日本国外における調査等が必要な場合には、普通保険約款・特約に定める日数までに保険金をお支払いします。この場合、引受保険会社は確認が必要な事項およびその確認を終える時期を被保険者または保険金を受け取るべき方に通知します。

［賠償責任を補償するプランにご加入の場合］

●法律上の賠償責任などを負担することによって被った損害を補償する契約の対象となる賠償事故の示談交渉については、事前に引受保険会社へご相談ください。なお、あらかじめ引受保険会社の承認を得ないで損害賠償責任を認めたり、賠償金などを支払われた場合には、保険金をお支払いできないことなどがありますのでご注意ください。

＜示談交渉サービス＞

日本国内において発生した、賠償責任条項の対象となる賠償事故（受託物の破損、紛失または盗取を除きます。）について被保険者のお申出があり、かつ被保険者の同意が得られれば、引受保険会社は原則として被保険者のために示談交渉をお引受いたします。また、日本国内において発生した賠償事故（受託物の破損、紛失または盗取を除きます。）で保険金が支払われる場合、被害者が保険金相当の損害賠償額を引受保険会社へ直接請求することもできます。

＜示談交渉を行うことができない主な場合＞

○1回の事故につき、被保険者が負担する法律上の損害賠償責任の額が賠償責任条項で定める保険金額を明らかに超える場合
○相手の方が引受保険会社との交渉に同意されない場合
○相手の方との交渉に際し、正当な理由なく被保険者が引受保険会社への協力を拒んだ場合
○被保険者に対する損害賠償請求に関する訴訟が日本国外の裁判所に提起された場合

ご加入内容確認事項

ご加入手続きに際し、以下の事項を十分にご確認ください。

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご提案いたしました保険商品がお客さまのご希望に合致した内容であること、ご加入いただくうえで特に重要な事項を正しくご記入いただいていることを確認させていただくためのものです。
お手数ですが、以下の各質問項目について、再度ご確認いただきますようお願い申し上げます。
なお、ご加入にあたりご不明な点や疑問点がございましたら、パンフレット記載の代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

1. 保険商品が以下の点で**お客さまのご希望に合致した内容となっていることをパンフレット・重要事項のご説明でご確認ください。**万一、ご希望に合致しない場合は、ご加入内容を再度ご検討ください。
「重要事項のご説明」に記載の、補償が重複する可能性のある特約等については、ご加入の要否をご確認ください。

- 保険金のお支払事由（主契約、セットしている特約を含みます。）
- 保険金額（ご契約金額）
- 保険期間（保険のご契約期間）
- 保険料・保険料払込方法

2. 加入申込票への記載・記入の漏れ・誤りがないかご確認ください。
以下の項目は、正しい保険料の算出や適切な保険金のお支払い等に必要な項目です。
内容をよくご確認いただき、加入申込票に正しくご記入いただきますようお願い申し上げます。
記載・記入の漏れ・誤りがある場合には、訂正あるいは追記をお願いいたします。

皆さまがご確認ください。	
□	加入申込票の「生年月日」または「年令」欄、「性別」欄は正しくご記入いただいていますか？ 「年令」欄は保険始期日時点での満年令をご記入ください。 ＊ご記入いただいた年令と生年月日から算出した年令が異なる場合には、生年月日から算出したものを年令として取り扱うことがあります。 または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？
□	加入申込票の「職業・職務」欄（「職種級別」欄を含みます。）は正しくご記入いただいていますか？ または、事前に打ち出している内容に誤りがないことをご確認いただきましたか？（傷害条項において交通事故危険のみ補償特約または自転車搭乗中等のみ補償特約がセットされたプランのみに加入される場合を除きます）
□	加入申込票の「他の保険契約等」欄は正しくご記入されていますか？
＊ご加入いただく保険商品の加入申込票によっては、上記の欄がない場合があります。上記のうち欄がないものについてのご確認は不要となります。	

このパンフレットは、学生・こども総合保険の概要を説明したものです。ご加入の内容は、こども総合保険普通保険約款および特約によって定まります。詳細は普通保険約款および特約をご確認ください。また、ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

契約概要のご説明（学生・こども総合保険）

●ご加入に際して特にご確認いただきたい事項をこの「契約概要」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
●申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
●この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
●契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. 商品の仕組みおよび引受条件等

(1) 商品の仕組み

この保険は、被保険者（補償の対象者）が事故によりケガをされた場合や病気になられた場合、被保険者の扶養者が事故によるケガで亡くなられたり重度後遺障害を負われた場合、および被保険者が法律上の損害賠償責任を負われた場合等に保険金をお支払いします。（保険金をお支払いする場合はご加入いただくプランによって異なりますので、同時にお渡しするパンフレットでご確認ください。）
なお、被保険者としてご加入いただける方、扶養者として指定できる方および被保険者の範囲は次のとおりとなります。

被保険者としてご加入いただける方		保険期間の末日において満22才以下の方または学校教育法に定める次の学校の学生・生徒の方（入学等手続を終えた方を含みます。）に限ります。（＊1）
対象となる学校教育法に定める学校		①大学　②大学院　③短期大学　④高等学校　⑤高等専門学校　⑥特別支援学校の高等部　⑦専修学校（専門課程、高等課程、一般課程）　⑧各種学校 ただし⑦、⑧については教育基本法に定める義務教育を修了した方およびこれに相当する方に限ります。
扶養者として指定できる方		被保険者を扶養している方で、かつ、次に掲げる条件をすべて満たしている方とします。 ①被保険者の親権者であること（被保険者が成年である場合を除きます。） ②被保険者と同居していること（下宿、扶養者の単身赴任等、被保険者の就学上の理由等で別居している場合を含みます。） ③被保険者の属する世帯の生計を維持していること
被保険者の範囲	**下記以外（＊2）**	加入申込票の被保険者氏名の欄に記載の方（本人）
	賠償責任保険金	＜本人のみ補償特約（賠償責任条項用）をセットしない場合＞ ①本人、②親権者およびその他の法定監督義務者、③配偶者、④本人・親権者・配偶者と同居の本人・配偶者の親族（6親等内の血族および3親等内の姻族）、⑤本人・親権者・配偶者と別居の本人・配偶者の未婚の子。 なお、①から⑤までの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。ただし、その責任無能力者に関する事故に限ります。 （注）同居・別居の別および続柄は、損害の原因となった事故発生時におけるものをいいます。住民票上は同居となっていても実態が別居の場合は、ここでいう同居には該当しません。
		＜本人のみ補償特約（賠償責任条項用）をセットする場合＞ 本人（本人が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。）
	借家人賠償責任保険金	借用住宅の賃借名義人が本人以外の場合は、本人に加えてその賃借名義人を含みます。 なお、これらの方が責任無能力者である場合は、親権者・法定監督義務者・監督義務者に代わって責任無能力者を監督する方（責任無能力者の6親等内の血族、配偶者および3親等内の姻族に限ります。）を被保険者とします。ただし、その責任無能力者に関する事故に限ります。

（＊1）1. 各省庁が教育施設として設置している税務大学校・航空大学校・自治大学校・防衛大学校等の各種大学校に在籍する学生・生徒の方は対象となりません。
2. 入学等手続を終えた方とは、入学に必要な書類を学校に提出のうえ、入学金およびその他の費用を納入し、学校の定める所定の手続を完了した方をいいます。
3. 保険始期時点で満1才未満または満30才以上の方は疾病補償基本特約をセットすることはできません。
4. 自宅から通学している学生・生徒の方は、借家人賠償責任補償（オールリスク）特約および生活用動産補償（実損補償型）特約をセットすることはできません。

（＊2）救援者費用等保険金については、救援対象者をいいます。

(2) 補償内容

保険金をお支払いする場合は「保険金のお支払いについて」のとおりです。詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

①保険金をお支払いする場合(支払事由)と保険金のお支払額

「保険金のお支払いについて」をご参照ください。

②保険金をお支払いしない主な場合(主な免責事由)

「保険金のお支払いについて」をご参照ください。なお、詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されております。

(3) セットできる主な特約およびその概要

「保険金のお支払いについて」をご参照ください。特約の内容の詳細は普通保険約款・特約に基づきます。

(4) 保険期間

この保険の保険期間は、同時にお渡しするパンフレットに記載のとおりです。お客さまが実際にご加入いただく保険期間については、加入申込票の保険期間欄にてご確認ください。

(5) 引受条件

●ご契約の引受範囲および引受範囲外の職業・職務につきましては、「注意喚起情報のご説明」の「2.(2)通知義務等(ご加入後にご連絡いただく事項)<ご契約の引受範囲><ご契約の引受範囲外>」をご参照ください。

●ご加入いただく保険金額につきましては、次の点にご注意ください。お客さまが実際にご加入いただく保険金額につきましては、同時にお渡しするパンフレットの保険金額欄および加入申込票、普通保険約款・特約等にてご確認ください。

・保険金額は被保険者(補償の対象者)の方の年令・年収などに照らして適正な金額となるように設定してください。場合により、お引受できない保険金額・ご加入条件等もありますのであらかじめご承知おきください。

2. 保険料

保険料は保険金額・保険期間・お仕事の内容(「交通事故危険のみ補償特約」または「自転車搭乗中等のみ補償特約」をセットしたご契約の場合を除きます。)等によって決定されます。お客さまが実際にご加入いただく保険料につきましては、同時にお渡しするパンフレットおよび加入申込票の保険料欄にてご確認ください。

3. 保険料の払込方法について

同時にお渡しするパンフレットをご参照ください。分割払の場合には、払込回数により、保険料が割増となっています。

4. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

5. 解約返れい金の有無

ご加入の脱退(解約)に際しては、ご加入時の条件により、保険期間のうち未経過であった期間の保険料を解約返れい金として返還します。始期日から解約日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料の払込状況により追加の保険料をご請求する場合があります。追加で請求したにもかかわらず、その払込みがない場合は、ご契約を解除することがあります。「注意喚起情報のご説明」の「7. 解約と解約返れい金」をご参照ください。

注意喚起情報のご説明（学生・こども総合保険）

●ご加入に際して被保険者にとって不利益になる事項等、特にご注意いただきたい事項をこの「注意喚起情報」に記載しています。ご加入される前に必ずお読みいただき、ご加入くださいますようお願いいたします。
●申込人と被保険者（補償の対象者）が異なる場合は、被保険者の方にもこの書面の内容を必ずお伝えください。
●この書面はご加入に関するすべての内容を記載しているものではありません。ご加入の内容は、普通保険約款・特約等によって定まります。ご不明な点については、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。
●契約取扱者が代理店または社員の場合は、引受保険会社の保険契約の締結権を有し、保険契約の締結・保険料の領収・保険料領収証の発行・ご契約の管理などの業務を行っています。したがって、代理店または社員と契約され有効に成立したご契約につきましては、引受保険会社と直接契約されたものとなります。

1. クーリングオフ説明書（ご契約のお申込みの撤回等）

この保険は団体契約であることからクーリングオフの対象となりません。

2. 告知義務・通知義務等

(1) 告知義務（ご加入時にお申出いただく事項）

■被保険者（補償の対象者）には、告知義務があり、代理店・扱者には告知受領権があります。告知義務とは、ご加入時に告知事項について、事実を正確に知らせる義務のことです。
■告知事項とは、危険に関する重要な事項として引受保険会社が告知を求めるもので、加入申込票に記載された内容のうち、「※」印などの印がついている項目のことです。この項目について、故意または重大な過失によって告知がなかった場合や告知した事項が事実と異なる場合には、ご加入を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。加入申込票の記載内容を必ずご確認ください。

【告知事項】
①被保険者の「職業・職務」（「交通事故危険のみ補償特約」または「自転車搭乗中等のみ補償特約」をセットした場合を除きます。）
②他の保険契約等（＊）に関する情報
（＊）同種の危険を補償する他の保険契約等で、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約、生命保険契約等を含みます。

(2) 通知義務等（ご加入後にご連絡いただく事項）

■ご加入後、被保険者に次の事実が発生した場合は、遅滞なくご加入の代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。ご連絡がない場合、保険金を削減してお支払いすることがありますので、十分ご注意ください。（「交通事故危険のみ補償特約」または「自転車搭乗中等のみ補償特約」をセットした場合を除きます。）

【通知事項】
①職業・職務を変更した場合
②新たに職業に就いた場合
③職業をやめた場合
また、上記①または②のいずれかにおいて、下記の＜ご契約の引受範囲外＞に該当した場合は、ご契約を解約していただくか、引受保険会社からご契約を解除します。

＜ご契約の引受範囲＞	下記以外の職業
＜ご契約の引受範囲外＞	オートテスター（テストライダー）、オートバイ競争選手、自動車競争選手、自転車競争選手（競輪選手）、モーターボート（水上オートバイを含みます。）競争選手、猛獣取扱者（動物園の飼育係を含みます。）、プロボクサー、プロレスラー、ローラーゲーム選手（レフリーを含みます。）、力士 その他これらと同程度またはそれ以上の危険な職業

■ご加入後、申込人の住所などを変更される場合は、ご契約内容の変更等が必要となります。ただちに代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。
また、次の①または②に該当する場合もご契約内容の変更手続が必要となりますので代理店・扱者または引受保険会社までご連絡ください。
①扶養の有無または扶養者の変更（育英費用を補償するセットの場合のみ）
②学校の種類の変更

(3) その他の注意事項

■同種の危険を補償する他の保険契約等（＊）で、過去3年以内に合計して5万円以上保険金を請求または受領されたことがある場合は、加入申込票の保険金請求歴欄にその内容を必ず記入してください。
（＊）「同種の危険を補償する他の保険契約等」とは、団体総合生活補償保険、普通傷害保険等をいい、いずれも積立保険を含みます。また、他の保険会社等における契約、共済契約等を含みます。

■保険金受取人について

保険金受取人	死亡保険金	・死亡保険金は、特に死亡保険金受取人を定めなかった場合には、被保険者の法定相続人にお支払いします。 （注）死亡保険金受取人を法定相続人以外の方に定める場合、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。なおこの場合、保険契約者と被保険者が異なるご契約を被保険者の同意のないままにご契約されていたときは、保険契約が無効となります。 また、ご契約後に死亡保険金受取人を変更する場合も、被保険者の同意を確認するための署名などをいただきます。
	上記以外	・普通保険約款・特約に定めております。

■傷害条項の被保険者が保険契約者以外の方である場合に、次のいずれかに該当するときは、傷害条項の被保険者は保険契約者にこの保険契約（＊）の解約を求めることができます。この場合、保険契約者はこの保険契約（＊）を解約しなければなりません。

①この保険契約（＊）の傷害条項の被保険者となることについて、同意していなかったとき
②保険契約者または保険金を受け取るべき方に、次のいずれかに該当する行為があったとき
・引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を発生させ、または発生させようとしたこと。
・保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
③保険契約者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当するとき
④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
⑤②～④の場合と同程度に被保険者の信頼を損ない、この保険契約（＊）の存続を困難とする重大な事由を発生させたとき
⑥保険契約者と被保険者との間の親族関係の終了等により、この保険契約（＊）の傷害条項の被保険者となることについて同意した事情に著しい変更があったとき

また、①の場合は、被保険者が引受保険会社に解約を求めることができます。その際は被保険者であることの証明書類等の提出が必要となります。

（＊）保険契約
その被保険者に係る部分に限ります。

■複数のご契約があるお客さまへ

次の特約等をセットする場合、補償内容が同様の保険契約（学生・こども総合保険以外の保険契約にセットされた特約や引受保険会社以外の保険契約を含みます。）が他にあるときは、補償が重複することがあります。補償が重複すると、補償対象となる事故による損害については、いずれの保険契約からでも補償されますが、損害の額等によってはいずれか一方の保険契約からは保険金が支払われない場合があり、保険料が無駄になることがあります。補償内容の差異や保険金額等を確認し、加入の要否を判断のうえ、ご加入ください。

（注）１契約のみご加入している場合、ご加入を解約したときや、家族状況の変化（同居から別居への変更等）により被保険者が補償の対象外となったとき等は、補償がなくなることがありますのでご注意ください。

＜補償が重複する可能性のある主な特約等＞

今回ご加入いただく補償	補償の重複が発生する他の保険契約の例
学生・こども総合保険 賠償責任条項	**自動車保険** 日常生活賠償特約
学生・こども総合保険 育英費用条項	**GK ケガの保険** 育英費用補償特約
学生・こども総合保険 生活用動産補償（実損補償型）特約	**火災保険** 家財補償条項

3. 補償の開始時期

始期日の午後4時（同時にお渡しするパンフレットにこれと異なる時刻が記載されている場合にはその時刻）に補償を開始します。保険料は、パンフレット記載の方法により払込みください。パンフレット記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険期間が始まった後であっても、保険金をお支払いしません。

4. 保険金をお支払いしない主な場合（主な免責事由）等

(1) 保険金をお支払いしない主な場合

「保険金のお支払いについて」をご参照ください。なお、保険金を支払わない場合の詳細は普通保険約款・特約の「保険金を支払わない場合」の項目に記載されておりますのでご確認ください。

(2) 重大事由による解除

次のことがある場合は、ご契約を解除し、保険金をお支払いできないことがあります。

①保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、引受保険会社に保険金を支払わせることを目的としてケガ等を発生させ、または発生させようとしたこと。
②被保険者または保険金を受け取るべき方が、保険金の請求について詐欺を行い、または行おうとしたこと。
③保険契約者、被保険者または保険金を受け取るべき方が、暴力団関係者、その他の反社会的勢力に該当すると認められたこと。
④他の保険契約等との重複により、保険金額等の合計額が著しく過大となり、保険制度の目的に反する状態がもたらされるおそれがあること。
⑤上記のほか、①～④と同程度に引受保険会社の信頼を損ない、保険契約の存続を困難とする重大な事由を発生させたこと。

5. 保険料の払込猶予期間等の取扱い

（1）保険料は、同時にお渡しするパンフレット記載の方法により払込みください。パンフレット記載の方法により保険料を払込みいただけない場合には、保険金をお支払いできないことがあります。また、ご契約を解除させていただくことがあります。

（2）分割払の場合で、保険金をお支払いする場合が発生し、保険金を支払うことにより契約の全部または一部が失効（または終了）

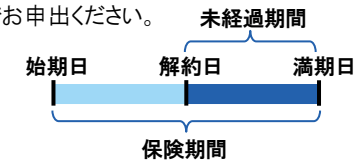
したときには、未払込みの分割保険料を請求させていただくことがあります。

6. 失効について

ご加入後に、被保険者（＊）が死亡された場合には、この保険契約は失効となります。なお、死亡保険金をお支払いする場合に該当しない事由の死亡による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。
＜育英費用条項について＞
ご加入の後、次のいずれかに該当するようになった場合、育英費用条項は効力を失います。
なお、②または③の事由による失効のときは、未経過期間分の保険料を返還します。
①引受保険会社が育英費用保険金をお支払いした場合
②被保険者（＊）が独立して生計を営むようになられた場合
③被保険者（＊）が特定の個人により扶養されなくなった場合
（＊）傷害条項および育英費用条項における被保険者をいいます。

7. 解約と解約返れい金

ご加入を中途で脱退（解約）される場合は、ご加入の代理店・扱者または引受保険会社までお申出ください。
・脱退（解約）日から満期日までの期間に応じて、解約返れい金を返還させていただきます。ただし、解約返れい金は原則として未経過期間分よりも少なくなります。
・始期日から脱退（解約）日までの期間に応じて払込みいただくべき保険料について、追加のご請求をさせていただくことがあります。



8. 保険会社破綻時等の取扱い

＜経営破綻した場合等の保険契約者の保護について＞
・引受保険会社の経営が破綻した場合など保険会社の業務または財産の状況の変化によって、ご加入時にお約束した保険金・解約返れい金等のお支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されたりすることがあります。
・損害保険会社が経営破綻した場合に保険契約者等を保護する目的で、「損害保険契約者保護機構」があり、引受保険会社も加入しています。この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象であり、損害保険会社が破綻した場合でも、ご加入いただく契約の保険期間により次のとおり補償されます。

ご加入いただく契約の保険期間	補償内容
1 年以内	保険金、解約返れい金等は80%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故および破綻時から3か月までに発生した事故による保険金は100%補償されます。
1 年超5年以内	保険金、解約返れい金等は90%まで補償されます。ただし、破綻前に発生した事故による保険金は100%補償されます。
5年超	保険金、解約返れい金等は90%まで補償されます。ただし、保険期間が5年を超える場合で、主務大臣が定める率より高い予定利率を適用している保険契約については、90%より補償割合が引き下がる場合があります。なお、破綻前に発生した事故による保険金は100%補償されます。

9. 個人情報の取扱いについて

この保険契約に関する個人情報について、引受保険会社が次の取扱いを行うことに同意のうえお申し込みください。

この保険契約に関する個人情報は、引受保険会社がこの保険引受の審査および履行のために利用するほか、引受保険会社および引受保険会社のグループのそれぞれの会社（海外にあるものを含む）が、この保険契約以外の商品・サービスのご案内・ご提供や保険引受の審査および保険契約の履行のために利用したり、提携先・委託先等の商品・サービスのご案内のために利用することがあります。
ただし、保健医療等のセンシティブ情報（要配慮個人情報を含む）の利用目的は、法令等に従い、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定します。
また、この保険契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先（保険代理店を含む）、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先等（いずれも海外にあるものを含む）に提供することがあります。
引受保険会社の個人情報の取扱いに関する詳細、商品・サービス内容、引受保険会社のグループ会社の名称、契約等情報交換制度等については、三井住友海上ホームページ（https://www.ms-ins.com）または引受保険会社のホームページをご覧ください。

10.「現在のご契約の解約・減額を前提とした新たなご契約」のご注意

現在のご契約について解約、減額などの契約内容の変更をされる場合には、被保険者にとって不利益となるときがあります。また、新たにお申込みの保険契約についても制限を受ける場合があります。

(1) 現在のご契約について解約、減額などをされる場合の不利益事項

①多くの場合、現在のご契約の解約返れい金は払込みいただいた保険料の合計額よりも少ない金額となります。特にご契約後短期間で解約された場合の解約返れい金はまったくないか、あってもごくわずかです。
②一定期間の契約継続を条件に発生する配当の請求権を失うことがあります。

(2) 新たな保険契約（「学生・こども総合保険」の疾病補償基本特約、疾病による学業費用補償特約）にお申込みされる場合のご注意事項

①新たにお申込みの保険契約については、その保険契約の責任期間開始前に生じている病気やケガ等に対しては保険金をお支払いできないことがあります。
②新たにお申込みの保険契約については、現在のご契約と商品内容が異なることがあります。新たな保険契約にご加入された場合、新たな保険契約の普通保険約款・特約が適用されます。
③新たにお申込みの保険契約については、保険料計算の基礎となる予定利率・予定死亡率等が解約・減額される契約と異なることがあります。

この保険商品に関するお問い合わせは
同時にお渡しするパンフレットの 【代理店・扱者】 欄をご覧ください。
三井住友海上へのご相談・苦情・お問い合わせは
「三井住友海上お客さまデスク」 0120－632－277(無料) 電話受付時間:平日 9:00～19:00 ／ 土日・祝日 9:00～17:00(年末年始は休業させていただきます。)
万一、事故が起こった場合は
遅滞なく代理店・扱者または下記にご連絡ください。 **24時間365日事故受付サービス 「三井住友海上事故受付センター」** 事故は いち早く **0120－258－189(無料)**
指定紛争解決機関 注意喚起情報
引受保険会社は、保険業法に基づく金融庁長官の指定を受けた指定紛争解決機関である一般社団法人 日本損害保険協会と手続実施基本契約を締結しています。引受保険会社との間で問題を解決できない場合には、一般社団法人 日本損害保険協会にご相談いただくか、解決の申し立てを行うことができます。 一般社団法人 日本損害保険協会 そんぽADRセンター 〔ナビダイヤル(全国共通・通話料有料)〕0570－022－808 ・受付時間[平日 9:15～17:00(土日・祝日および年末年始を除きます)] ・携帯電話からも利用できます。IP 電話からは 03-4332-5241 におかけください。 ・おかけ間違いにご注意ください。 ・詳細は、一般社団法人 日本損害保険協会のホームページをご覧ください。 (https://www.sonpo.or.jp/about/efforts/adr/index.html)

生活サポートサービス

ご相談無料

日常生活に役立つさまざまなサービスを電話にてご利用いただけます。学生・こども総合保険など*にご加入のお客さまとその同居のご家族の方専用サービスです。

＊メンタルヘルス相談は、被保険者の保護者の方のみ利用可能です。ただし、被保険者本人の疾病を補償するプラン（精神障害補償の有無は問いません）にご加入の場合、かつ、被保険者本人に関する相談に限ります。詳しくは、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

健康・医療※

- ■健康・医療相談（医師相談は一部予約制）
- ■メンタルヘルス相談
- ■医療機関総合情報提供
- ■診断サポートサービス（各種人間ドック機関紹介等）
- ■三大疾病セカンドオピニオン情報提供
- ■女性医師情報提供、女性医師相談（医師相談は一部予約制）

介　護 年中無休 24 時間対応

- ■介護に関する情報提供
- ■介護に関する悩み相談
- ■公的介護保険で利用できるサービス等に関する相談
- ■認知症に関する情報提供と悩み相談

暮らしの相談 平日 14：00～17：00

- ■暮らしのトラブル相談（法律相談）
- ■暮らしの税務相談 弁護士・税理士との相談は予約制

お客さまの行っている事業についてのご相談や、既に弁護士に対応を依頼している案件、訴訟となっている案件についてのご相談は対象となりません。また、引受保険会社の保険に関連するご相談は、代理店・扱者または引受保険会社までお問い合わせください。

情報提供・紹介サービス 平日 10：00～17：00

- ■子育て相談（１２才以下）
- ■暮らしの情報提供（冠婚葬祭、ボランティア情報）
- ■安心な暮らしをサポートする事業者の紹介

健康・介護ステーション

インターネットにて健康・医療、介護に関する情報をご提供します。
URL：https://www.ms-ins.com/kenko_kaigo/

※メンタルヘルス相談：平日 9:00～21:00、土曜日 10:00～18:00、メンタルヘルス相談以外：年中無休 24 時間対応。
○サービス受付の電話番号（通話料無料）は、ご加入後にお届けする加入者証や案内状の案内などをご覧ください。
○平日とは、土・日・祝日・年末・年始を除いた月～金をいいます。
○お使いの電話回線により、ご利用できない場合があります。また、ご利用は日本国内からに限ります。
○本サービスは、引受保険会社の提携サービス会社にてご提供します。海外に関するご相談など、ご相談内容によってはご対応できない場合があります。
○本サービスは予告なく変更・中止する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2019 年 10 月 1 日以降始期契約用(1.05) 2021.5/A3F11/71245/A

ご注意いただきたいこと

- 「学生・こども総合保険 パンフレット別冊」もあわせて必ずお読みいただき、保険期間終了まで一緒に保管ください。
- 前年度ご加入いただいた被保険者の人数に従って割引率が適用されます。
- この保険は学校法人武庫川学院が保険契約者となる団体契約です。

  被保険者が保険料を負担される場合、保険契約者が保険料をとりまとめのうえ引受保険会社に払い込みます。なお、保険契約者が引受保険会社に保険料を払い込まなかった場合には、保険契約が解除され保険金が支払われないことがあります。また、保険契約者または被保険者がご加入の取消等をされた場合、引受保険会社は返還保険料を保険契約者に返還します。
- この制度で被保険者（補償の対象者）となれる方の範囲は武庫川女子大学・武庫川女子大学短期大学部に在籍する学生（入学等手続を終えた方を含みます。）です。
- 今回の募集では、下記の特約がセットされています。本パンフレットと同時にお渡しする「学生・こども総合保険パンフレット別冊」に該当する保険金、特約部分をご確認ください。

特約名・条項名	保険金の種類		募集セット名
（傷害条項）	傷害保険金	死亡保険金	全セット
		後遺障害保険金	
		入院保険金	
		手術保険金	
		通院保険金	
疾病補償基本特約	疾病保険金	疾病入院保険金	A1,A2,A3,A4,B1,B2, E1,E2,G1,G2 セット
		疾病手術保険金	
		放射線治療保険金	
特定感染症危険「後遺障害保険金、 入院保険金および通院保険金」補償特約	特定感染症による後遺障害保険金		全セット
	特定感染症による入院保険金		
	特定感染症による通院保険金		
（育英費用条項）	育英費用保険金		A1,A2,A3,A4,B1,B2, E1,E2,G1,G2 セット
（賠償責任条項） 賠償責任条項の一部変更に関する特約セット	賠償責任保険金		全セット
学業費用補償特約	学資費用保険金		A1,A2,A3,A4,B1,B2, E1,E2,G1,G2 セット
疾病による学業費用補償特約 保険期間開始前の発病の取扱いの変更に関する特約 （疾病による学業費用補償特約用）セット	疾病学資費用保険金		A1,A3,B1,E1,G1 セット

補償を拡大または縮小する特約名および被保険者の範囲に関する特約名	
本人のみ補償特約（賠償責任条項用）	細菌性食中毒およびウイルス性食中毒補償特約
熱中症危険補償特約	長期保険特約

※上記すべての募集セットに、「条件付戦争危険等免責に関する一部修正特約」が自動セットされています。

補償対象外の特約名・保険金の種類		
・後遺障害保険金の追加支払 ・特定感染症による後遺障害保険金の追加支払 特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金および通院保険金」補償特約 ・疾病通院保険金 疾病補償基本特約	・進学費用保険金 学業費用補償特約 ・疾病進学費用保険金 疾病による学業費用補償特約 保険期間開始前の発病の取扱いの変更に関する特約（疾病による学業費用補償特約用）セット	・生活用動産保険金 生活用動産補償（実損補償型）特約 新価保険特約（生活用動産補償特約用）セット ・携行品損害保険金 携行品損害補償特約 新価保険特約（携行品損害補償特約用）セット ・借家人賠償責任保険金 借家人賠償責任補償（オールリスク）特約 ・救援者費用等保険金 救援者費用等補償（入院ワイド型）特約

お問い合わせ先

【代理店・扱者】

株式会社武庫女エンタープライズ

武庫川学院 100％出資

TEL 0798-47-3170

受付（平日 9:00～12:00／13:00～17:00）

【引受保険会社】

三井住友海上火災保険株式会社　関西金融法人部第二課

TEL 06-6233-0022　受付（平日 9:00～17:00）

万一、事故が起こった場合は

遅滞なく代理店・扱者または下記にご連絡ください。

24時間 365日 事故受付サービス

三井住友海上 事故受付センター

TEL 0120-258-189（無料）

事故の連絡は、「インターネット受付」も行っています。

インターネット事故受付サービス
「三井住友海上保険金請求WEB」は、こちらから

※対応可能な事故は限定されています。
詳細はWEB画面をご覧ください。

A21-200328　使用期限 2028 年 4 月 1 日